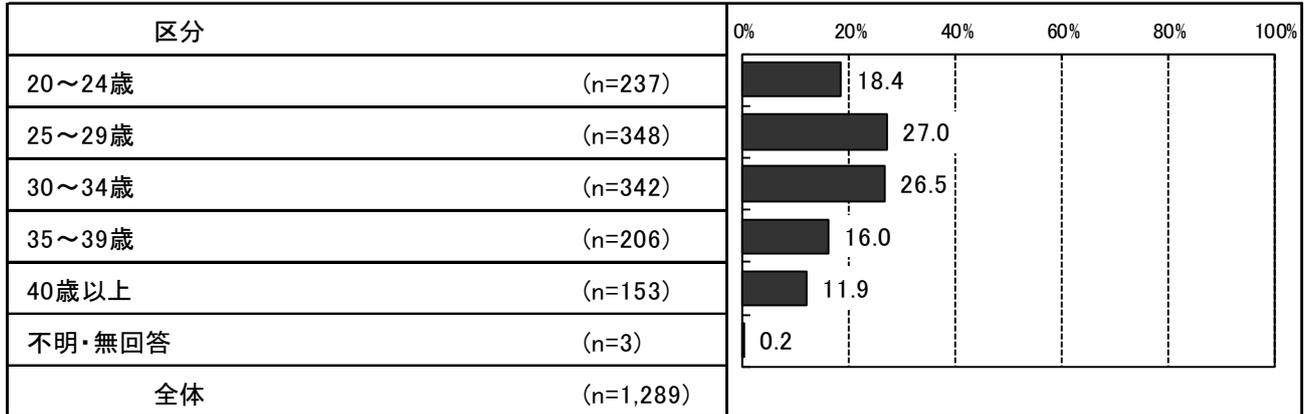


## 第3章 転出調査の結果

### I. あなたご自身のことやお住まいのことについて

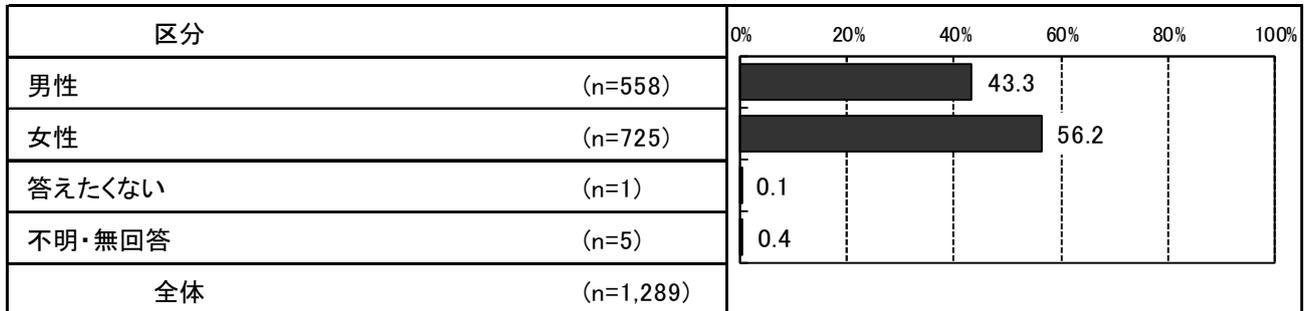
問1 あなたの年齢と性別をお答えください。【1つに〇】

#### ■年齢



● 「25～29歳」が27.0%で最も多く、次いで「30～34歳」が26.5%、「20～24歳」が18.4%となっています。

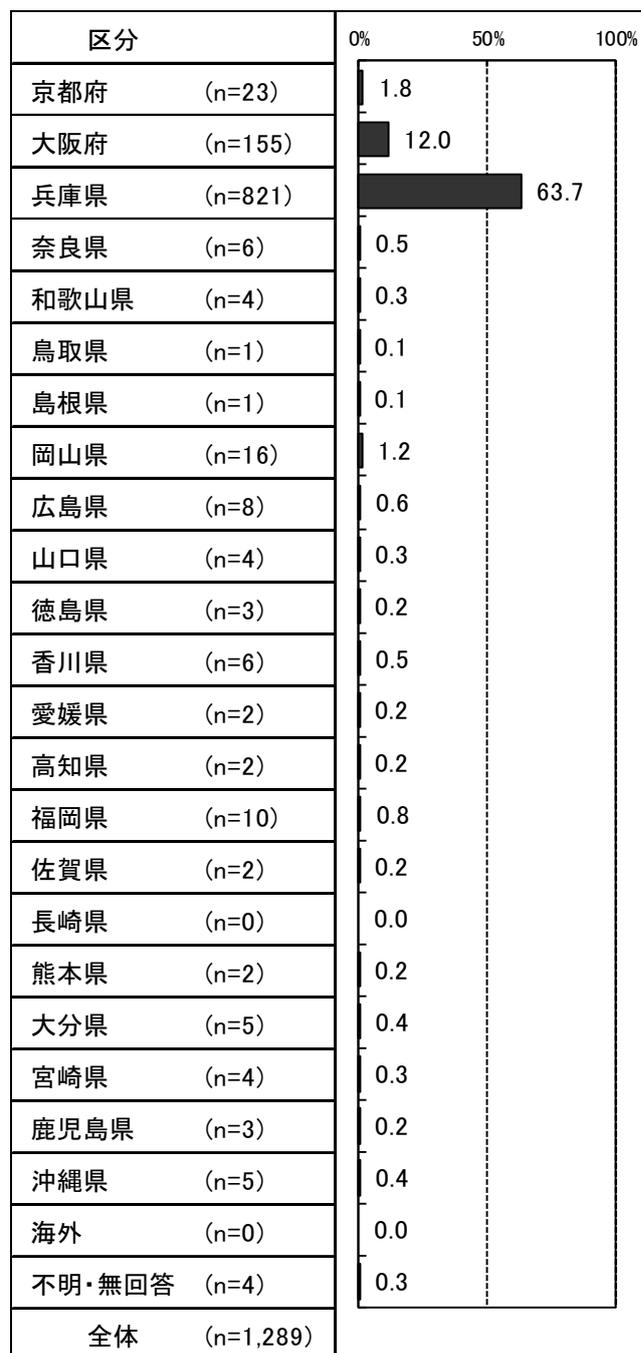
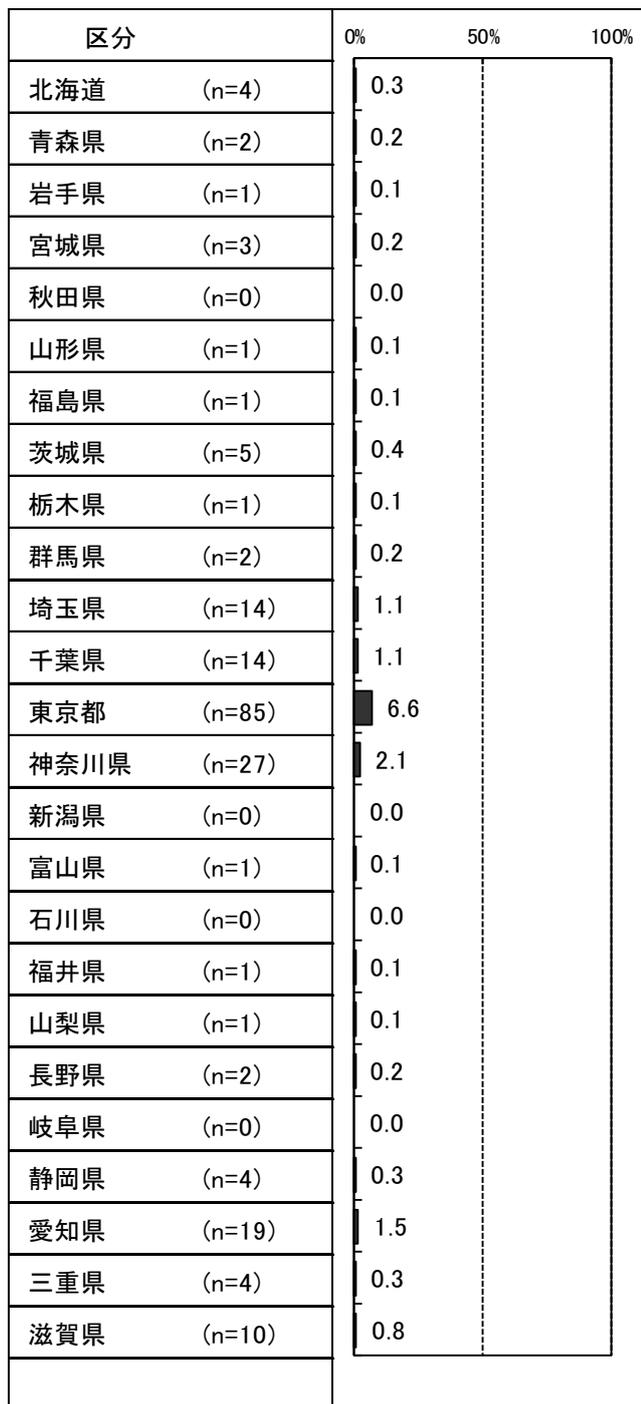
#### ■性別



● 「女性」が56.2%で最も多く、次いで「男性」が43.3%、「答えたくない」が0.1%となっています。

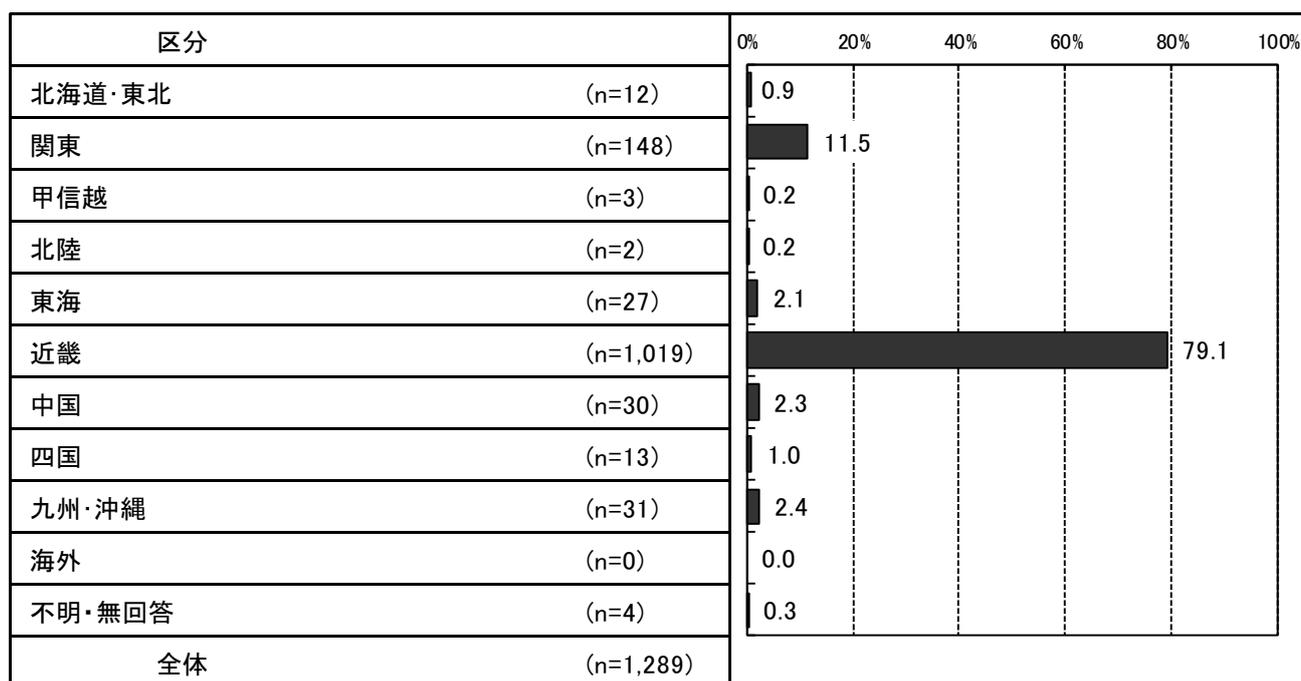
問2 あなたは現在、どちらにお住まいですか。

■ 転出先（現在住んでいる）の都道府県



● 「兵庫県」が 63.7%で最も多く、次いで「大阪府」が 12.0%、「東京都」が 6.6%となっています。

■ 転出先（現在住んでいる）の地方エリア



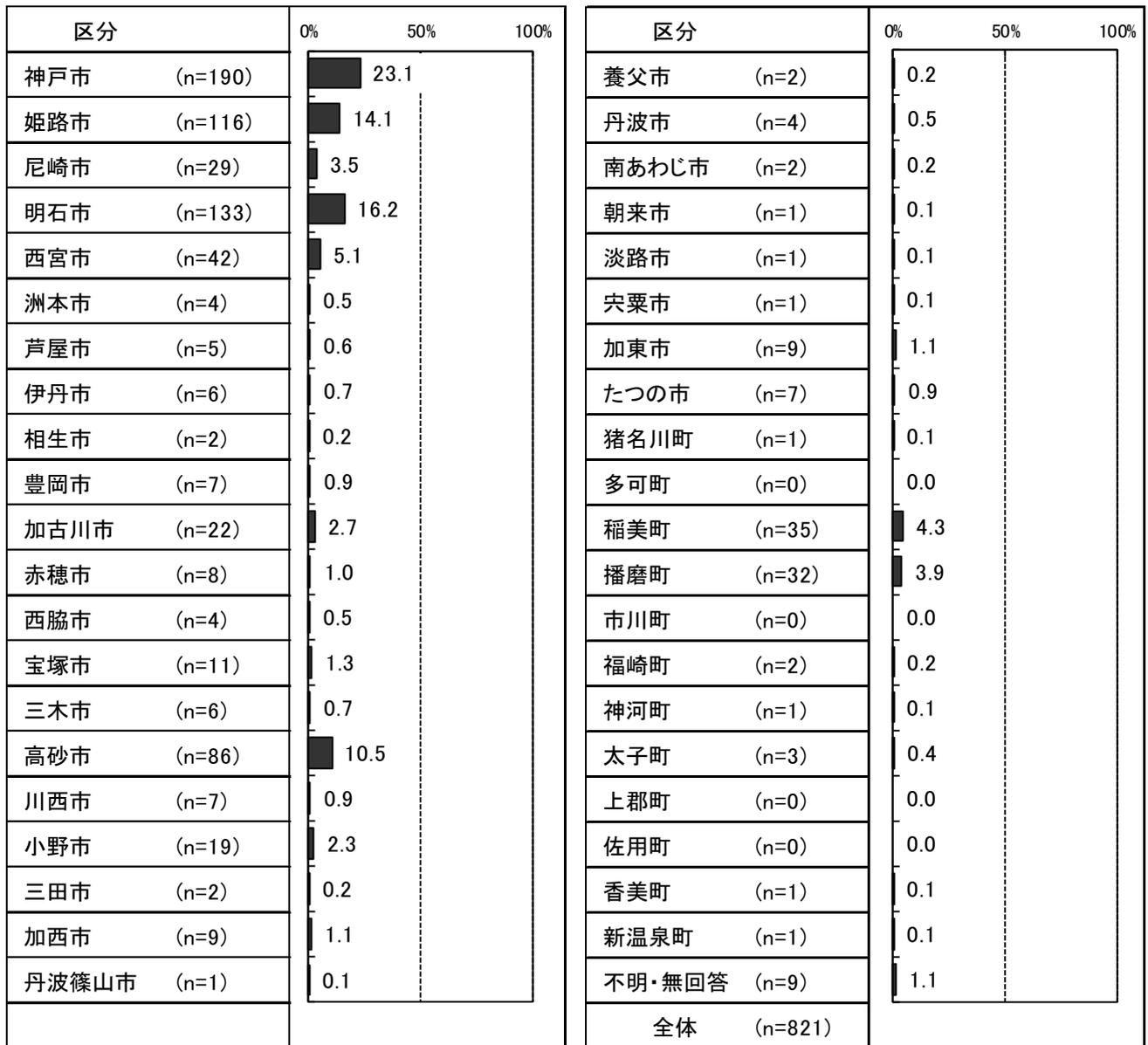
● 「近畿」が79.1%で最も多く、次いで「関東」が11.5%、「九州・沖縄」が2.4%となっています。

【年齢別 転出先の地方エリア】

	(n)	北海道・東北	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	不明・無回答	
全体	1,289	0.9	11.5	0.2	0.2	2.1	79.1	2.3	1.0	2.4	0.0	0.3	
年齢別	20～24歳	237	1.3	21.5	0.4	0.4	3.8	64.1	3.4	2.5	2.5	0.0	0.0
	25～29歳	348	0.9	13.5	0.0	0.0	2.9	78.2	1.7	0.9	2.0	0.0	0.0
	30～34歳	342	1.2	6.4	0.0	0.0	0.9	86.5	2.0	0.9	2.0	0.0	0.0
	35～39歳	206	1.0	10.2	1.0	0.0	1.5	80.1	1.9	0.0	3.9	0.0	0.5
	40歳以上	153	0.0	4.6	0.0	0.7	1.3	87.6	3.3	0.7	2.0	0.0	0.0

● 年齢別にみると、どの年代も「近畿」が最も多くなっています。次いで「関東」となっていますが20～24歳のみ20%台と、ほかの年代より多くなっています。

■ 転出先の兵庫県下の市町



● 「神戸市」が23.1%で最も多く、次いで「明石市」が16.2%、「姫路市」が14.1%となっています。

【年齢別 転出先の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		821	23.1	14.1	3.5	16.2	5.1	0.5	0.6	0.7	0.2	0.9	2.7	1.0	0.5	1.3
年齢別	20～24歳	90	26.7	6.7	8.9	7.8	8.9	0.0	2.2	3.3	0.0	3.3	2.2	2.2	0.0	3.3
	25～29歳	214	23.8	12.6	6.1	15.4	6.1	0.9	0.5	0.5	0.0	0.9	2.8	1.4	0.5	0.9
	30～34歳	252	24.2	15.1	0.8	21.0	4.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	3.6	0.8	0.4	1.2
	35～39歳	140	15.7	13.6	2.9	17.1	4.3	0.7	1.4	0.0	0.7	0.7	2.1	0.7	1.4	2.1
	40歳以上	125	25.6	20.8	1.6	12.8	4.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		821	0.7	10.5	0.9	2.3	0.2	1.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	1.1
年齢別	20～24歳	90	0.0	5.6	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0
	25～29歳	214	0.9	9.3	1.4	2.3	0.5	0.5	0.0	0.0	1.4	0.0	0.5	0.0	0.0	1.4
	30～34歳	252	0.4	9.9	0.8	2.4	0.4	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳	140	1.4	15.0	0.7	2.9	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	2.1
	40歳以上	125	0.8	12.0	0.8	2.4	0.0	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		821	0.9	0.1	0.0	4.3	3.9	0.0	0.2	0.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	1.1
年齢別	20～24歳	90	0.0	0.0	0.0	4.4	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	3.3
	25～29歳	214	1.4	0.0	0.0	3.3	2.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
	30～34歳	252	0.4	0.0	0.0	4.8	5.6	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	35～39歳	140	0.7	0.7	0.0	3.6	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	40歳以上	125	1.6	0.0	0.0	5.6	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8

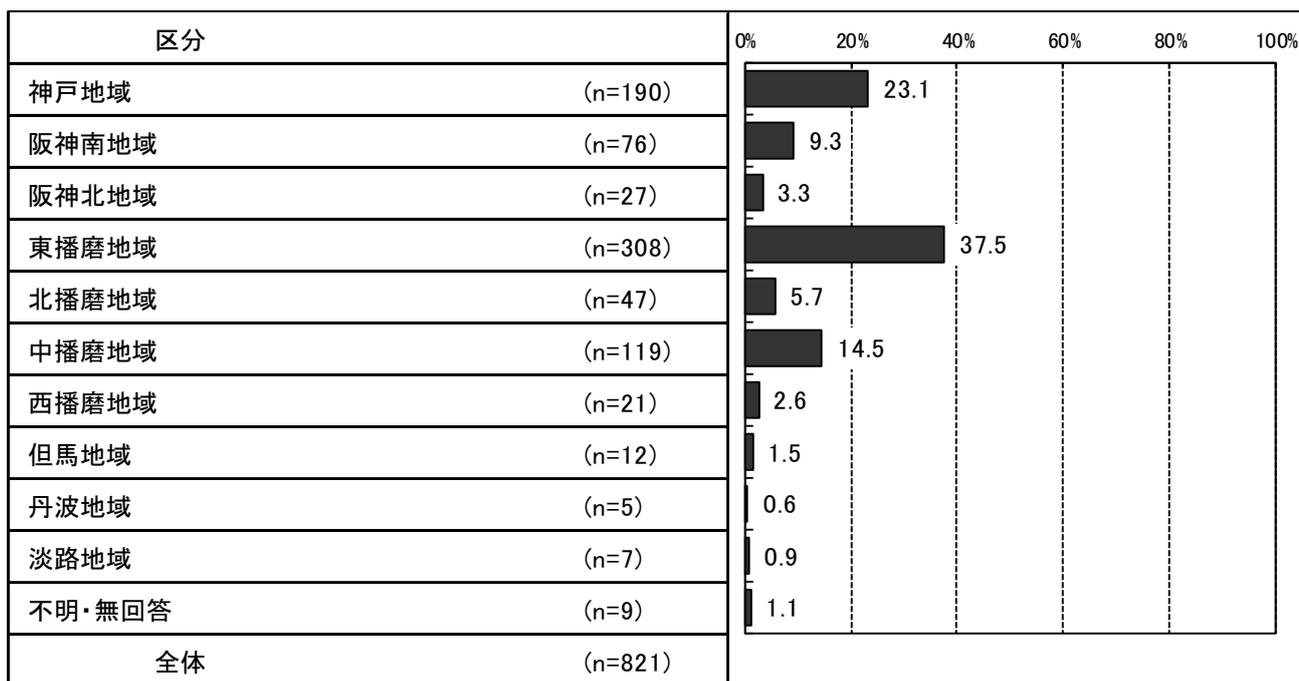
●年齢別にみると、35～39歳は「明石市」、そのほかの年代は「神戸市」が最も多くなっています。

【現在の世帯構成別 転出先の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		821	23.1	14.1	3.5	16.2	5.1	0.5	0.6	0.7	0.2	0.9	2.7	1.0	0.5	1.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	38.7	9.3	8.0	13.3	10.0	0.0	0.7	1.3	0.0	2.7	1.3	2.0	1.3	1.3
	夫婦のみの世帯	265	26.8	15.5	2.3	16.2	5.7	0.4	0.8	0.8	0.0	0.4	2.6	0.0	0.4	1.1
	子どものいる世帯	301	14.0	15.3	3.0	19.9	2.7	0.7	0.3	0.3	0.7	0.0	2.7	1.3	0.0	1.0
	親と同居世帯	45	17.8	13.3	0.0	13.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1	0.0	0.0	2.2
	三世帯世帯	36	11.1	19.4	0.0	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8
	その他の世帯	23	30.4	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		821	0.7	10.5	0.9	2.3	0.2	1.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	1.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	0.0	4.7	0.0	1.3	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7
	夫婦のみの世帯	265	1.5	8.7	1.1	1.9	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	1.9
	子どものいる世帯	301	0.3	15.9	1.0	3.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7
	親と同居世帯	45	0.0	2.2	0.0	0.0	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世帯世帯	36	2.8	19.4	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
	その他の世帯	23	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		821	0.9	0.1	0.0	4.3	3.9	0.0	0.2	0.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	1.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	265	0.0	0.4	0.0	3.4	4.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	子どものいる世帯	301	1.7	0.0	0.0	5.3	5.6	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	親と同居世帯	45	4.4	0.0	0.0	11.1	4.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2
	三世帯世帯	36	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7

●現在（転出後）の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「明石市」、三世帯世帯は「姫路市」と「高砂市」、ほかの世帯は「神戸市」が最も多くなっています。

■ 転出先の兵庫県下の圏域別集計



- 「東播磨地域」が 37.5%で最も多く、次いで「神戸地域」が 23.1%、「中播磨地域」が 14.5%となっています。

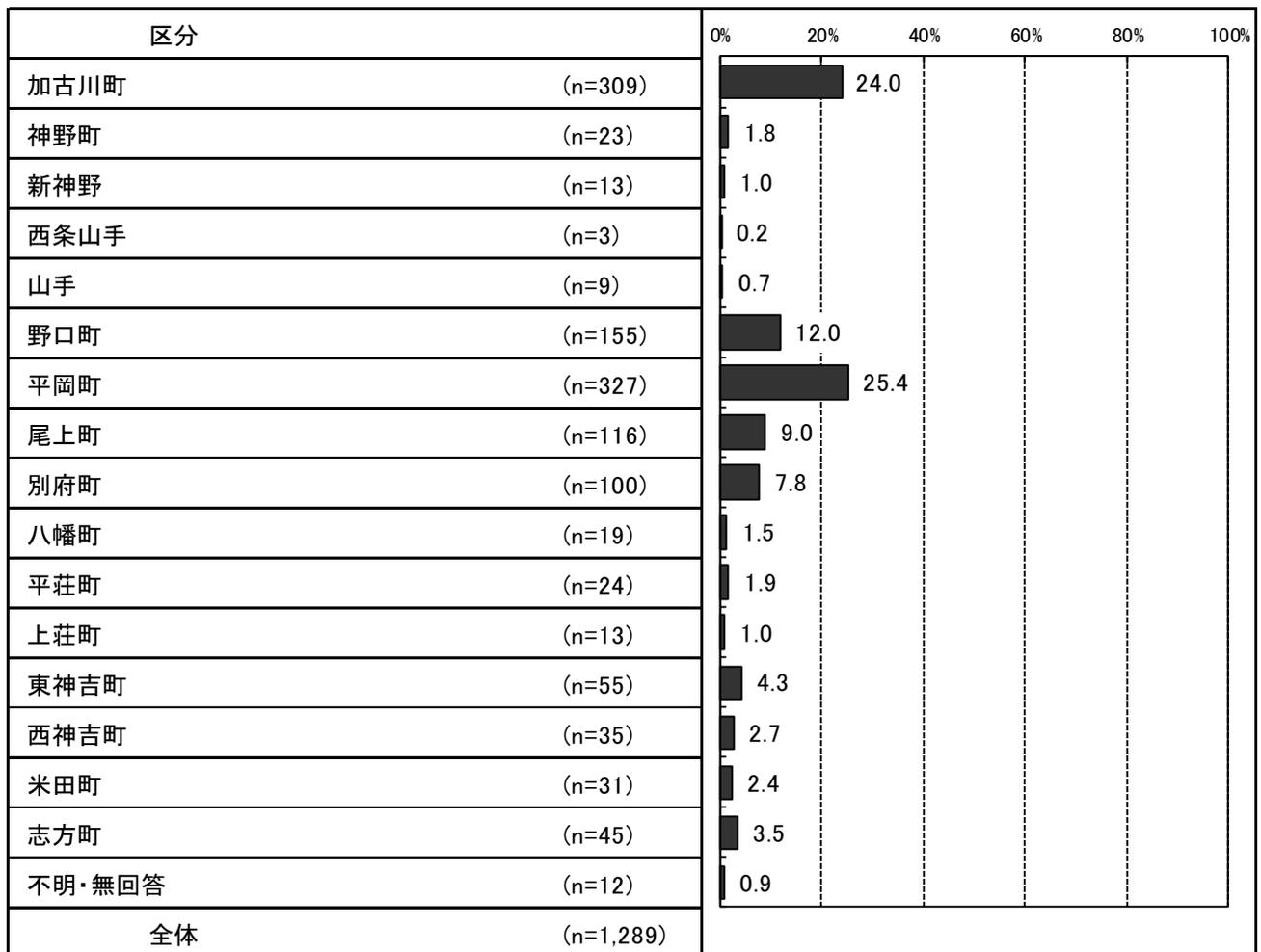
【年齢別・現在の世帯構成別 転出先の兵庫県下の圏域】

	(n)	神戸地域	阪神南地域	阪神北地域	東播磨地域	北播磨地域	中播磨地域	西播磨地域	但馬地域	丹波地域	淡路地域	不明・無回答
全体	821	23.1	9.3	3.3	37.5	5.7	14.5	2.6	1.5	0.6	0.9	1.1
年齢別	20～24歳	90	26.7	20.0	6.7	23.3	3.3	6.7	3.3	4.4	1.1	3.3
	25～29歳	214	23.8	12.6	3.3	33.6	5.6	12.6	3.7	1.9	1.4	0.5
	30～34歳	252	24.2	4.8	2.8	44.8	4.0	15.9	2.0	0.4	0.4	0.8
	35～39歳	140	15.7	8.6	3.6	42.9	8.6	13.6	2.1	1.4	0.0	2.1
	40歳以上	125	25.6	5.6	1.6	33.6	8.0	21.6	1.6	0.8	0.0	0.8
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	38.7	18.7	2.7	19.3	4.0	9.3	2.7	4.0	0.7	0.0
	夫婦のみの世帯	265	26.8	8.7	3.4	35.5	6.0	15.8	0.4	1.1	0.8	0.8
	子どものいる世帯	301	14.0	6.0	2.3	49.5	5.6	15.6	4.3	0.0	0.3	1.0
	親と同居世帯	45	17.8	2.2	6.7	42.2	2.2	15.6	4.4	4.4	0.0	2.2
	三世帯世帯	36	11.1	2.8	2.8	36.1	19.4	19.4	0.0	2.8	2.8	2.8
	その他の世帯	23	30.4	21.7	13.0	17.4	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7

- 年齢別にみると、20～24歳・40歳以上の年代は「神戸地域」そのほかの地域は「東播磨地域」が最も多くなっています。「阪神南地域」は20～24歳のみ20%台となっています。
- 現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「神戸地域」、そのほかの地域は「東播磨地域」が最も多くなっています。

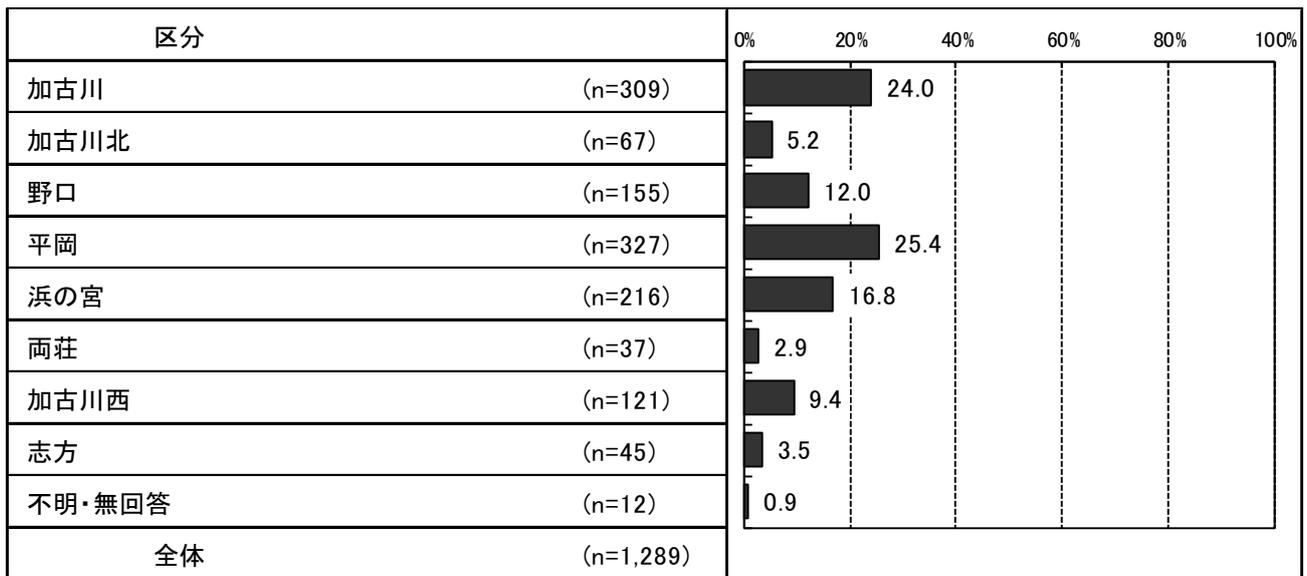
問3 加古川市では、どちらにお住まいでしたか。【1つに〇】

■ 居住地域（町名）



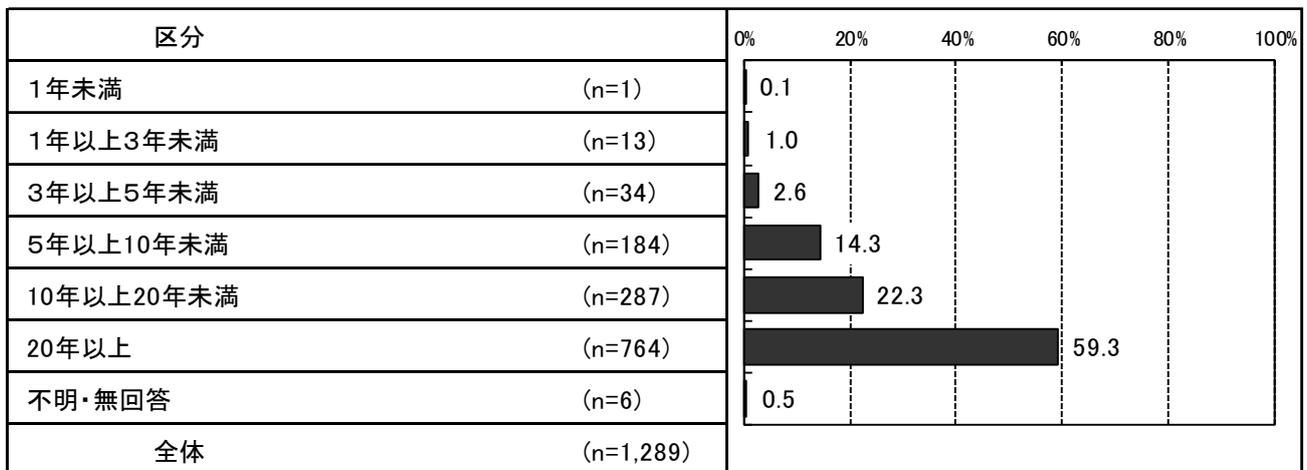
● 「平岡町」が25.4%で最も多く、次いで「加古川町」が24.0%、「野口町」が12.0%となっています。

■加古川市での居住地区



●「平岡町」が 25.4%で最も多く、次いで「加古川町」が 24.0%、「浜の宮」が 16.8%となっています。

問4 加古川市には、通算で何年お住まいでしたか。【1つに○】

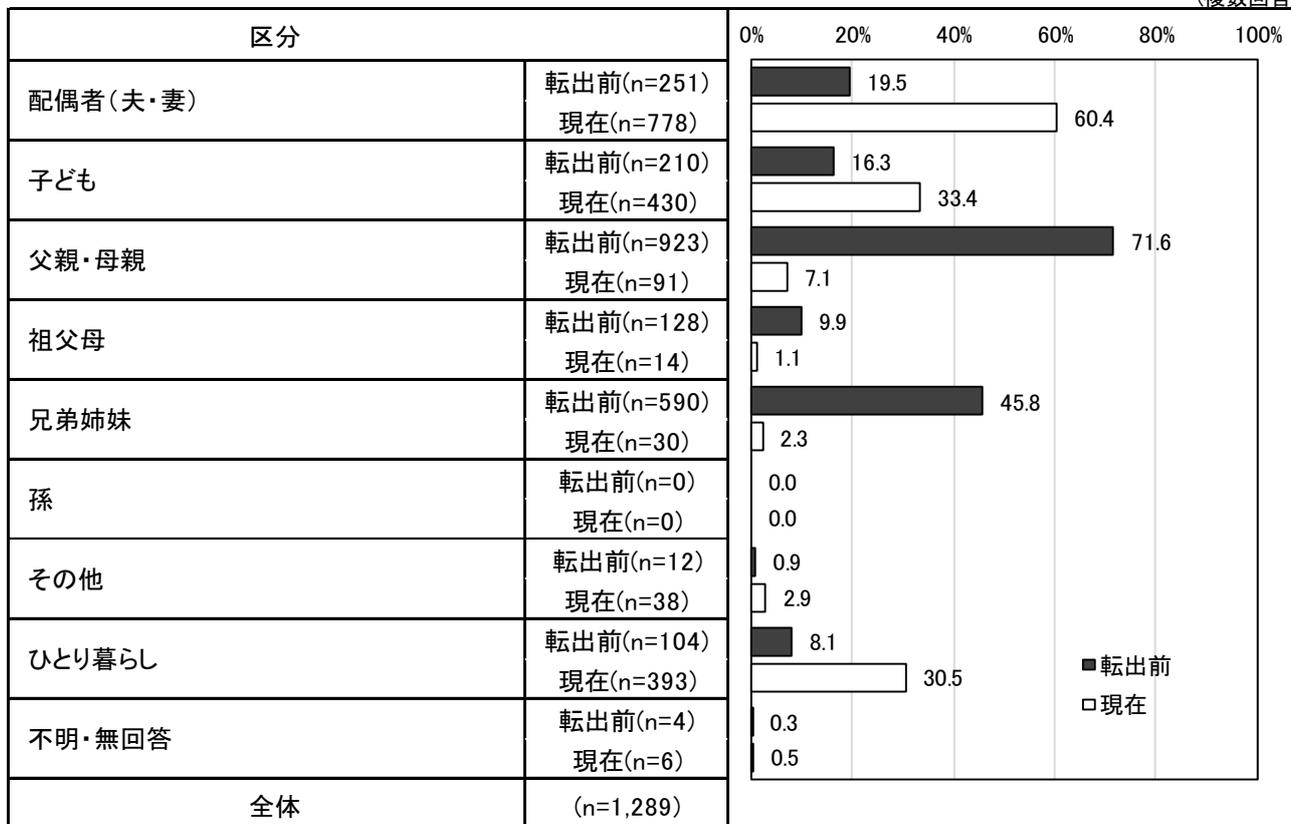


●「20年以上」が 59.3%で最も多く、次いで「10年以上 20年未満」が 22.3%、「5年以上 10年未満」が 14.3%となっています。

問5 転出前と現在の家族構成について、一緒に住んでいる方全員に○をつけてください。また、転出前と現在の家族の人数をご記入ください。

■ 家族構成

(複数回答)



● 転出前の家族構成は、「父親・母親」が71.6%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が45.8%、「配偶者(夫・妻)」が19.5%となっています。

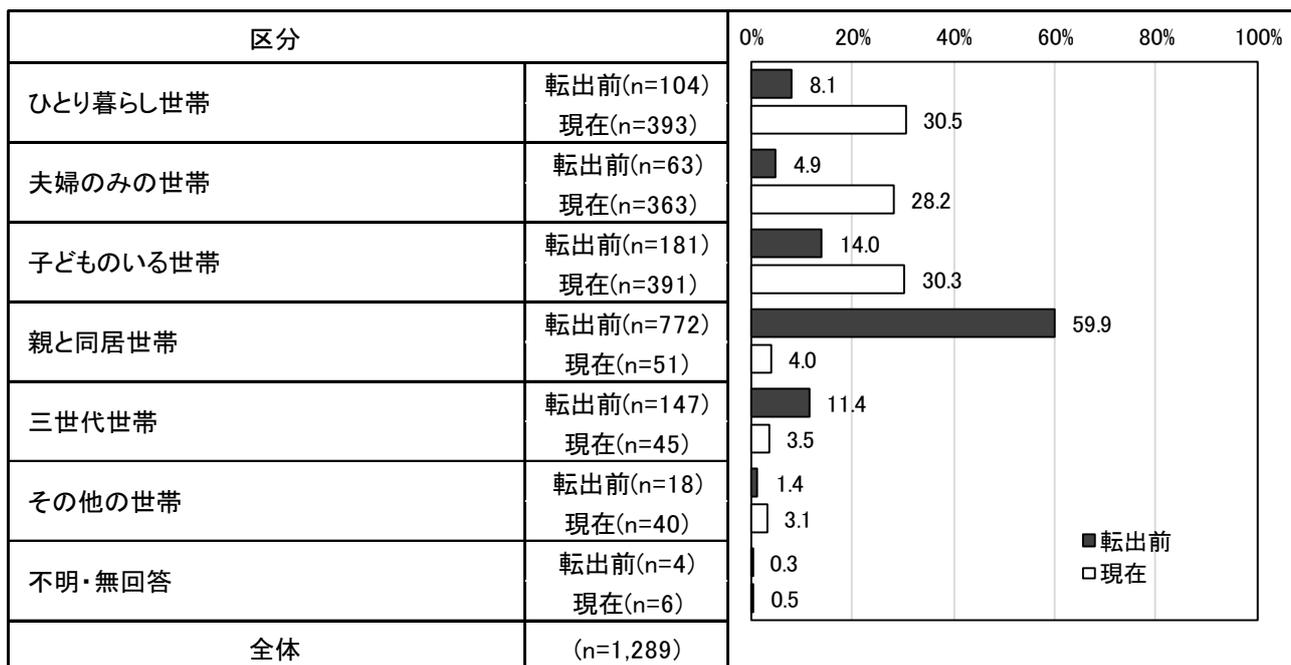
● 現在(転出後)の家族構成は、「配偶者(夫・妻)」が60.4%で最も多く、次いで「子ども」が33.4%、「ひとり暮らし」が30.5%となっています。

【年齢別 転出前と現在（転出後）の家族構成】

		(n)	配偶者 (夫・妻)	子ども	父親・ 母親	祖父母	兄弟 姉妹	孫	その他	ひとり 暮らし	不明・ 無回答	
年齢別	転出前	全体	1,289	19.5	16.3	71.6	9.9	45.8	0.0	0.9	8.1	0.3
		20～24 歳	237	1.7	2.5	94.9	14.3	75.9	0.0	0.0	1.3	0.0
		25～29 歳	348	8.0	6.3	85.6	10.9	59.5	0.0	1.1	6.6	0.0
		30～34 歳	342	22.2	16.7	65.2	9.1	36.5	0.0	1.2	12.0	0.3
		35～39 歳	206	36.9	32.5	51.5	7.3	23.8	0.0	1.0	10.7	0.0
		40 歳以上	153	43.8	37.9	46.4	6.5	19.0	0.0	1.3	9.8	0.0
	現在 (転出後)	全体	1,289	60.4	33.4	7.1	1.1	2.3	0.0	2.9	30.5	0.5
		20～24 歳	237	13.9	7.6	7.2	1.7	3.8	0.0	5.5	73.8	0.8
		25～29 歳	348	61.5	27.0	6.0	0.9	2.9	0.0	3.2	29.6	0.3
		30～34 歳	342	79.5	44.7	7.0	1.5	2.3	0.0	1.2	14.0	0.0
		35～39 歳	206	76.7	50.0	4.4	0.0	0.0	0.0	2.4	16.0	0.0
		40 歳以上	153	66.0	40.5	13.1	1.3	2.0	0.0	3.3	22.2	0.0

- 年齢別にみると、転出前はどの年代も「父親・母親」が最も多くなっています。また、「配偶者（夫・妻）」「子ども」は年齢が高くなるにつれて回答が増え、「父親・母親」「祖父母」「兄弟姉妹」は年齢が高くなるにつれて回答が減る傾向にあります。
- 転出後は、20～24 歳は「ひとり暮らし」、そのほかの年代は「配偶者（夫・妻）」が最も多くなっています。「子ども」は 30 歳以上の年代で 40%を超えています。
- 転出前と転出後を比較すると、どの年代も「配偶者（夫・妻）」「子ども」は転出前から転出後で回答が増え、「父親・母親」「祖父母」「兄弟姉妹」「ひとり暮らし」は転出前から転出後で回答が減る傾向にあります。

## ■世帯構成



●転出前の世帯構成は、「親と同居世帯」が 59.9%で最も多く、次いで「子どものいる世帯」が 14.0%、「三世代世帯」が 11.4%となっています。

●現在（転出後）の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 30.5%で最も多く、次いで「子どものいる世帯」が 30.3%、「夫婦のみの世帯」が 28.2%となっています。

【年齢別 転出前と現在（転出後）の世帯構成】

		(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答	
年齢別	転出前	全体	1,289	8.1	4.9	14.0	59.9	11.4	1.4	0.3
		20～24歳	237	1.3	0.8	1.3	80.6	14.3	1.7	0.0
		25～29歳	348	6.6	2.3	5.2	72.7	12.1	1.1	0.0
		30～34歳	342	12.0	7.3	14.0	53.8	11.1	1.5	0.3
		35～39歳	206	10.7	7.3	30.1	41.3	9.2	1.5	0.0
		40歳以上	153	9.8	8.5	32.7	38.6	9.2	1.3	0.0
	現在（転出後）	全体	1,289	30.5	28.2	30.3	4.0	3.5	3.1	0.5
		20～24歳	237	73.8	6.3	6.3	5.5	2.1	5.1	0.8
		25～29歳	348	29.6	34.2	25.6	4.3	2.0	4.0	0.3
		30～34歳	342	14.0	35.7	41.2	3.5	3.8	1.8	0.0
		35～39歳	206	16.0	30.6	46.6	1.0	3.4	2.4	0.0
		40歳以上	153	22.2	28.8	32.7	5.9	8.5	2.0	0.0

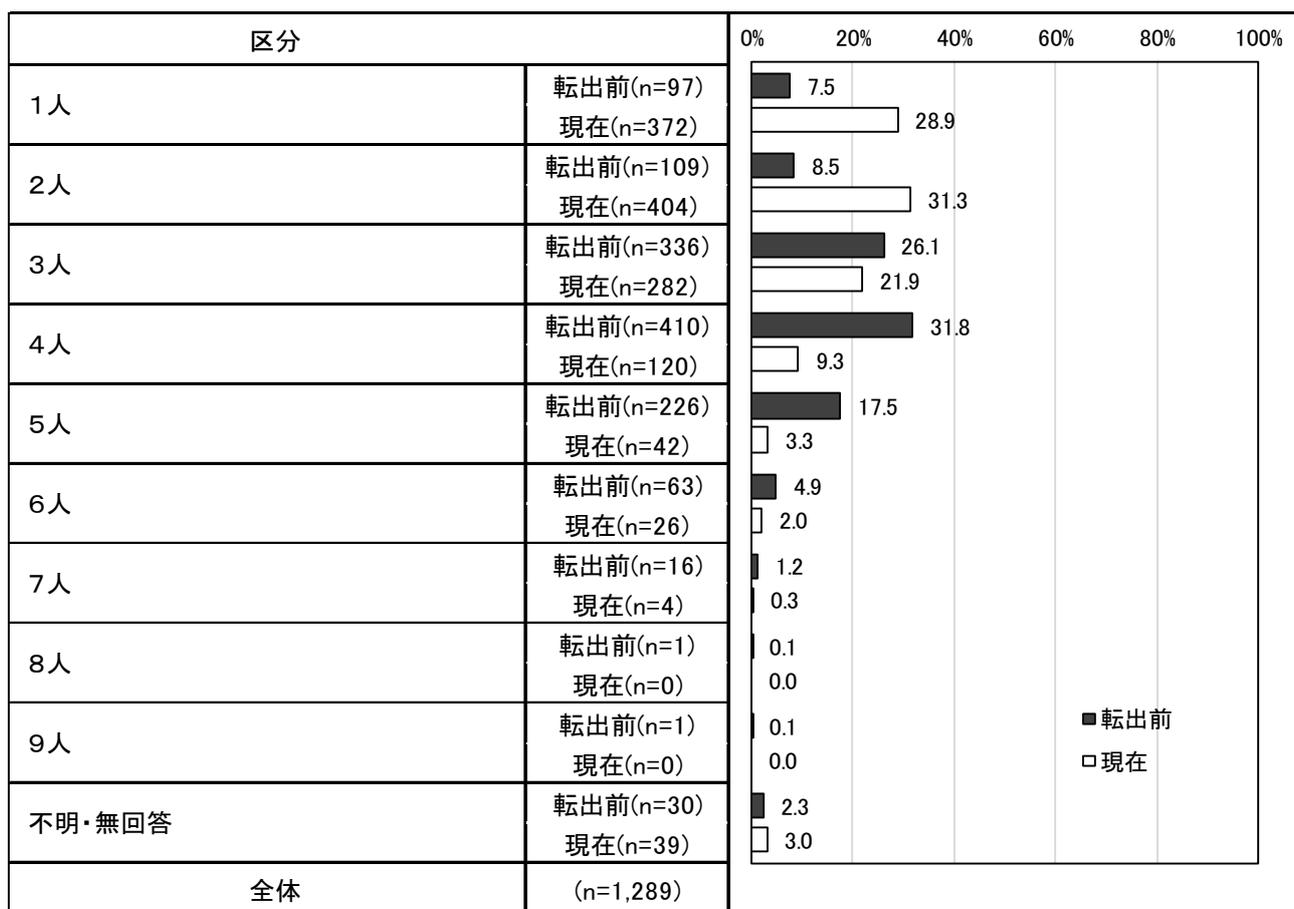
- 年齢別にみると、転出前はどの年代も「親と同居世帯」が最も多くなっています。
- 現在（転出後）は、20～24歳は「ひとり暮らし世帯」、25～29歳は「夫婦のみの世帯」、30歳以上の年代は「子どものいる世帯」が最も多くなっています。
- 転入前と転入後を比較すると、どの年代も「ひとり暮らし世帯」「夫婦のみの世帯」「子どものいる世帯」は転出前から転出後で回答が増え、「親と同居世帯」は転出前から転出後で回答が減る傾向にあります。

【転出前の世帯構成別 現在（転出後）の世帯構成】

		(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答
全体		1,289	30.5	28.2	30.3	4.0	3.5	3.1	0.5
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	31.7	44.2	13.5	5.8	1.9	1.9	1.0
	夫婦のみの世帯	63	3.2	42.9	44.4	1.6	7.9	0.0	0.0
	子どものいる世帯	181	7.2	0.6	81.2	0.6	9.9	0.6	0.0
	親と同居世帯	772	38.0	31.1	19.9	5.1	1.7	4.0	0.3
	三世代世帯	147	33.3	27.2	30.6	2.0	4.8	2.0	0.0
	その他の世帯	18	16.7	50.0	11.1	5.6	0.0	16.7	0.0

- 転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「夫婦のみの世帯」、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「子どものいる世帯」、親と同居世帯・三世代世帯は「ひとり暮らし世帯」が最も多くなっています。

■ 家族の人数

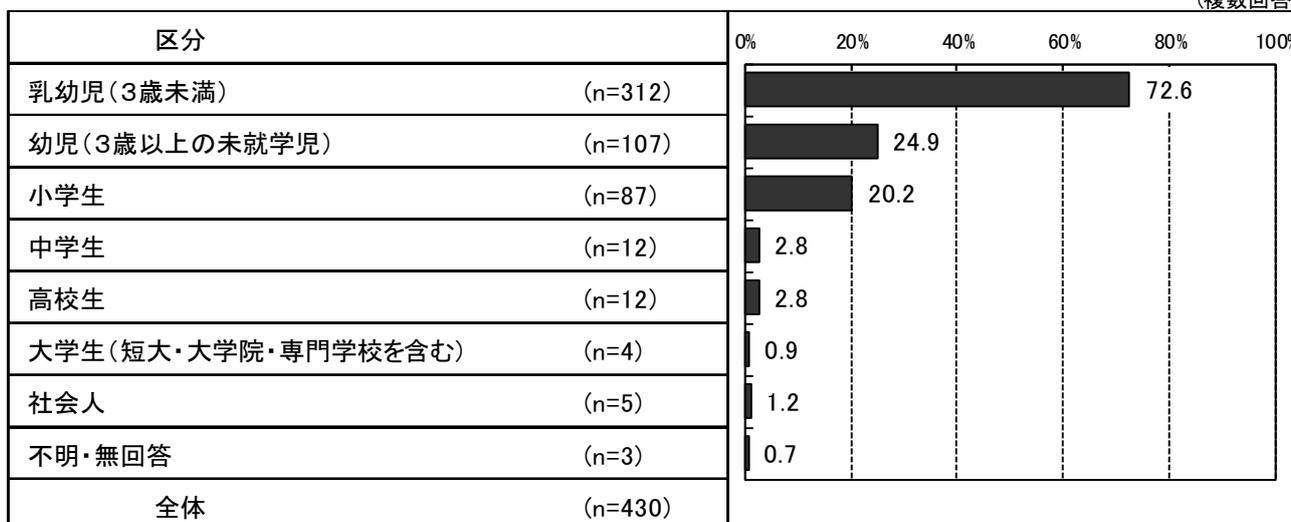


- 転出前の家族の人数は、「4人」が31.8%で最も多く、次いで「3人」が26.1%、「5人」が17.5%となっています。平均は3.7人となっています。
- 現在（転出後）の家族の人数は、「2人」が31.3%で最も多く、次いで「1人」が28.9%、「3人」が21.9%となっています。平均は2.3人となっています。

問5の「現在の家族構成」で「2. 子ども」「6. 孫」と答えた方におうかがいします。

問6 お子さんやお孫さんは、以下のどちらにあてはまりますか。【あてはまるものすべてに○】

(複数回答)



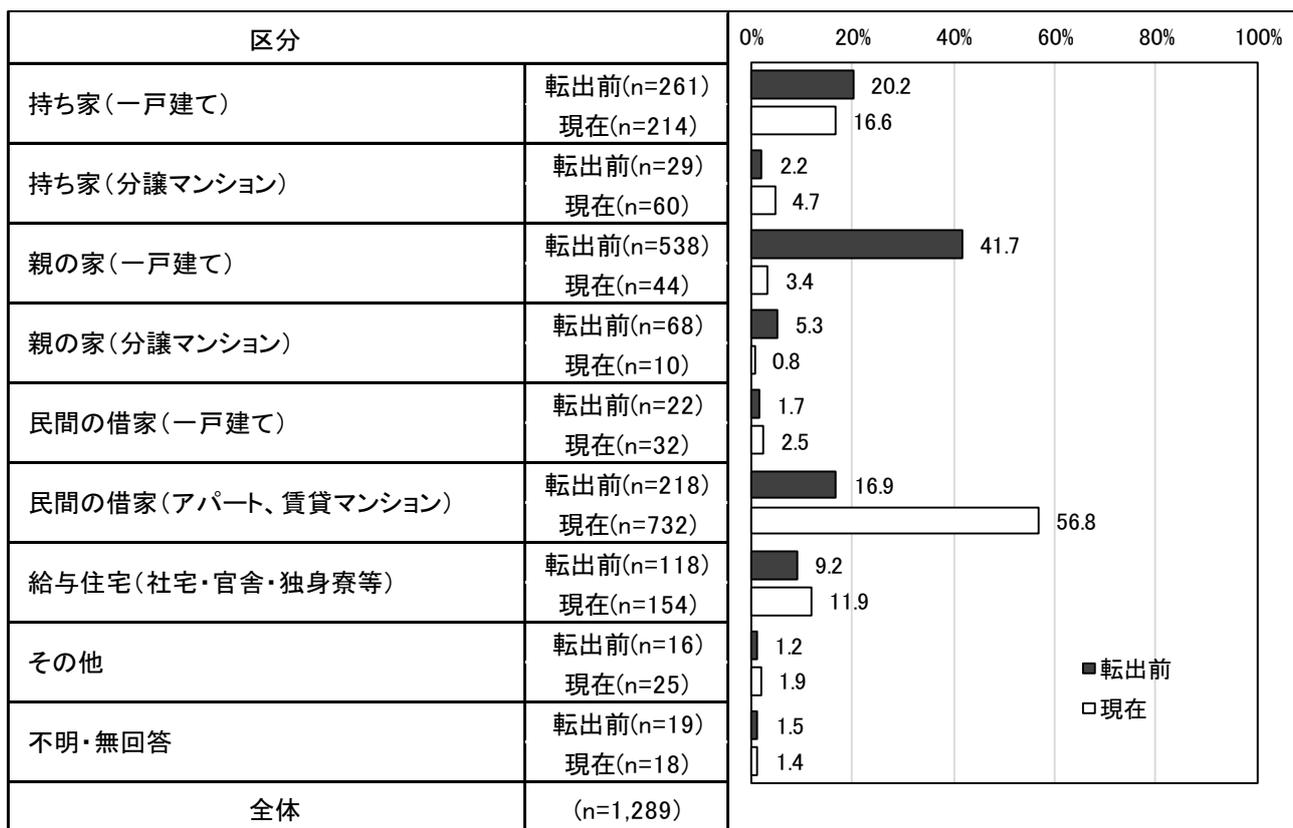
●「乳幼児(3歳未満)」が72.6%で最も多く、次いで「幼児(3歳以上の未就学児)」が24.9%、「小学生」が20.2%となっています。

【年齢別 子どもの学齢期】

	(n)	乳幼児(3歳未満)	幼児(3歳以上の未就学児)	小学生	中学生	高校生	大学生(短大・大学院・専門学校を含む)	社会人	不明・無回答
全体	430	72.6	24.9	20.2	2.8	2.8	0.9	1.2	0.7
年齢別	20~24歳	18	94.4	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	25~29歳	94	93.6	7.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~34歳	153	84.3	22.9	13.1	2.6	0.0	0.7	0.7
	35~39歳	103	55.3	43.7	33.0	4.9	0.0	1.0	0.0
	40歳以上	62	33.9	30.6	41.9	4.8	19.4	3.2	6.5

●年齢別にみると、40歳以上は「小学生」、そのほかの年代は「乳幼児(3歳未満)」が最も多くなっています。

問7 転出前後の住居について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。



- 転出前の住居は、「親の家（一戸建て）」が 41.7%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 20.2%、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 16.9%となっています。
- 現在（転出後）の住居は、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 56.8%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 16.6%、「給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）」が 11.9%となっています。

【年齢別 転出前と現在（転出後）の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答	
年齢別	転出前	全体	1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5
		20～24歳	237	25.3	3.4	46.4	9.7	1.7	8.4	2.1	1.7	1.3
		25～29歳	348	20.4	1.4	50.0	5.7	0.6	12.9	6.0	0.9	2.0
		30～34歳	342	16.4	1.8	39.2	5.3	1.8	17.3	17.3	0.6	0.6
		35～39歳	206	17.0	3.9	34.5	1.9	2.4	27.2	11.2	1.5	0.5
		40歳以上	153	25.5	1.3	32.0	2.0	3.3	24.8	6.5	2.6	2.0
	現在（転出後）	全体	1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4
		20～24歳	237	2.5	1.3	3.4	0.8	1.3	60.8	24.9	3.8	1.3
		25～29歳	348	10.9	2.3	2.0	0.9	1.4	67.8	11.8	0.6	2.3
		30～34歳	342	23.4	5.3	3.5	0.3	2.3	56.4	6.7	1.5	0.6
		35～39歳	206	27.7	8.3	2.9	1.0	2.4	47.6	8.7	1.5	0.0
		40歳以上	153	21.6	9.2	7.2	1.3	7.2	39.9	8.5	3.9	1.3

- 年齢別にみると、転出前は年代に関わらず「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。
- 現在（転出後）は、年代に関わらず「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別 転出前の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	1.9	0.0	2.9	0.0	1.9	53.8	38.5	0.0	1.0
	夫婦のみの世帯	63	4.8	3.2	1.6	0.0	1.6	63.5	23.8	0.0	1.6
	子どものいる世帯	181	18.8	2.8	2.8	1.7	3.9	36.5	30.4	2.2	1.1
	親と同居世帯	772	24.5	2.5	54.7	8.0	1.0	6.2	0.9	1.0	1.2
	三世帯世帯	147	18.4	1.4	68.0	2.0	2.7	4.1	0.0	2.0	1.4
	その他の世帯	18	27.8	5.6	38.9	0.0	0.0	11.1	5.6	5.6	5.6

- 転出前の世帯構成別に転出前の住居をみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、ほかの世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【現在（転出後）の世帯構成別 転出前の住居】

	(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答	
全体	1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5	
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	21.9	3.3	50.1	8.1	0.8	8.1	4.1	1.5	2.0
	夫婦のみの世帯	363	20.1	1.4	49.6	3.9	1.7	14.9	6.9	0.0	1.7
	子どものいる世帯	391	18.9	2.0	30.4	3.6	2.3	23.5	17.1	1.5	0.5
	親と同居世帯	51	25.5	3.9	29.4	7.8	3.9	15.7	11.8	2.0	0.0
	三世代世帯	45	13.3	0.0	24.4	2.2	4.4	51.1	4.4	0.0	0.0
	その他の世帯	40	22.5	2.5	40.0	5.0	0.0	17.5	5.0	7.5	0.0

●現在の世帯構成別に転出前の住居をみると、三世代世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、ほかの世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【現在（転出後）の世帯構成別 現在（転出後）の住居】

	(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答	
全体	1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4	
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.3	1.5	0.0	0.0	0.5	70.2	23.7	1.8	2.0
	夫婦のみの世帯	363	11.6	7.2	0.6	0.6	1.9	67.8	7.7	1.1	1.7
	子どものいる世帯	391	34.8	5.6	1.3	0.3	5.1	43.5	7.2	2.0	0.3
	親と同居世帯	51	29.4	9.8	29.4	7.8	3.9	15.7	3.9	0.0	0.0
	三世代世帯	45	40.0	0.0	46.7	6.7	2.2	0.0	0.0	4.4	0.0
	その他の世帯	40	5.0	2.5	2.5	0.0	0.0	75.0	5.0	10.0	0.0

●現在（転入後）の世帯構成別に現在（転出後）の住居をみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯・その他の世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、親と同居世帯は「持ち家（一戸建て）」と「親の家（一戸建て）」、三世代世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【転出前の住居別 現在（転出後）の住居】

	(n)	転出後(現在の)住居									
		持ち家(一戸建て)	持ち家(分譲マンション)	親の家(一戸建て)	親の家(分譲マンション)	民間の借家(一戸建て)	民間の借家(アパート、賃貸マンション)	給与住宅(社宅・官舎・独身寮等)	その他	不明・無回答	
全体	1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4	
転出前の住居	持ち家(一戸建て)	261	11.9	3.4	1.5	1.1	2.7	63.2	13.8	2.3	0.0
	持ち家(分譲マンション)	29	20.7	6.9	3.4	0.0	0.0	55.2	13.8	0.0	0.0
	親の家(一戸建て)	538	9.3	4.8	3.0	0.6	1.5	66.9	11.9	1.9	0.2
	親の家(分譲マンション)	68	5.9	4.4	2.9	2.9	1.5	63.2	19.1	0.0	0.0
	民間の借家(一戸建て)	22	18.2	4.5	13.6	0.0	9.1	45.5	9.1	0.0	0.0
	民間の借家(アパート、賃貸マンション)	218	32.1	4.6	6.4	0.5	4.6	45.0	4.6	1.8	0.5
	給与住宅(社宅・官舎・独身寮等)	118	39.8	6.8	3.4	0.8	2.5	26.3	18.6	1.7	0.0
	その他	16	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	43.8	12.5	18.8	0.0

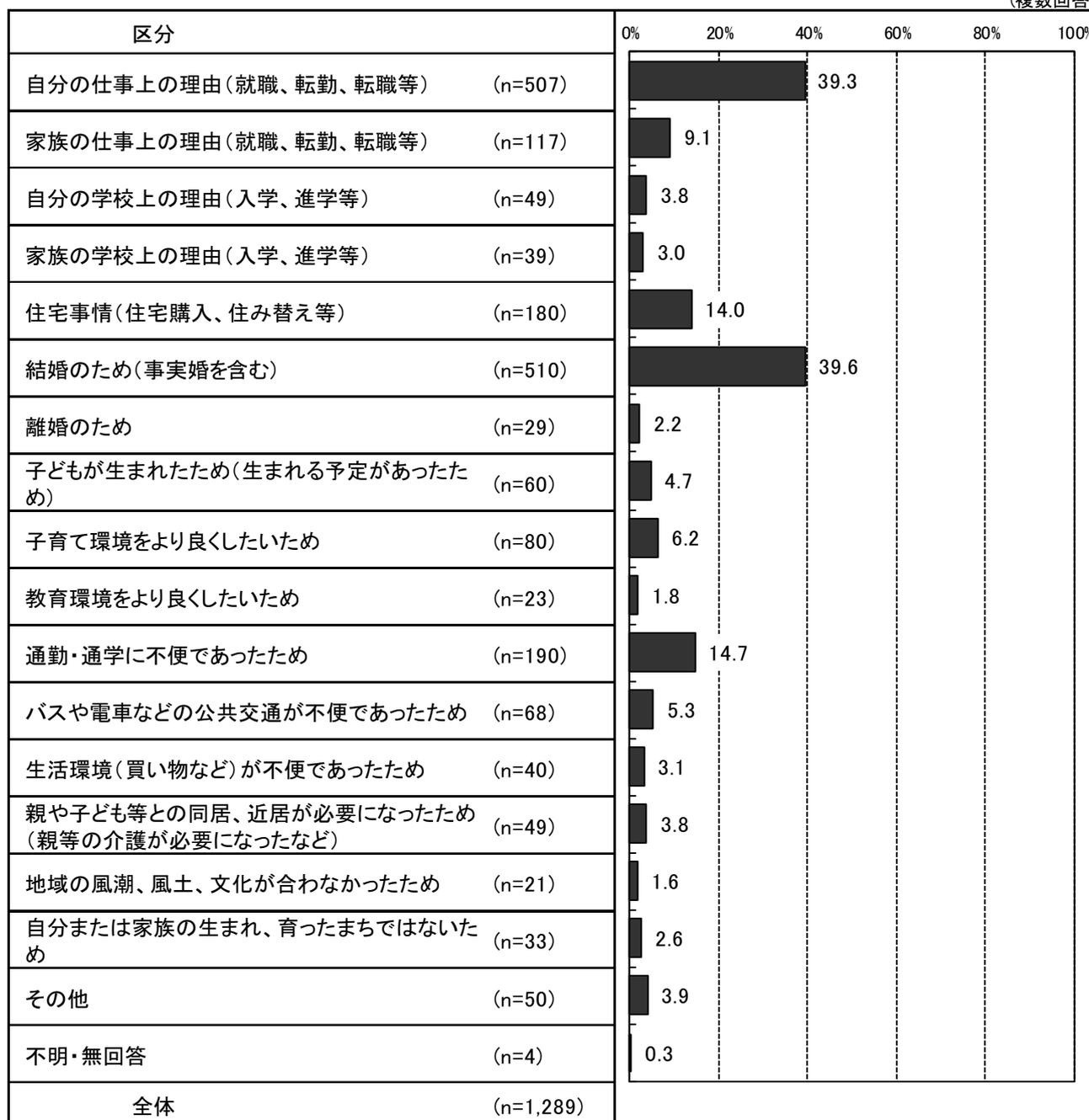
●転出前の住居別に現在（転出後）の住居をみると、転出前は給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）の人は「持ち家（一戸建て）」、そのほかの住居の人は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。また、転出前は民間の借家（アパート、賃貸マンション）の人は、転出後は「持ち家（一戸建て）」が30%台となっています。

## Ⅱ. 転出の理由等について

問8 加古川市から転出した理由をすべてお答えください。また、転出理由の中で最も大きな理由を1つ、回答欄にご記入ください。

### ■ 転出した理由

(複数回答)



- 「結婚のため(事実婚を含む)」が39.6%で最も多く、次いで「自分の仕事上の理由(就職、転勤、転職等)」が39.3%、「通勤・通学に不便であったため」が14.7%となっています。

【年齢別 転出した理由】

		(n)	職、転勤、 転職等	職、転勤、 転職等	学、進学等	学、進学等	学、進学等	住宅事情 (住宅購入、住 み替え等)	結婚のため (事実婚を含 む)	離婚のため	子どもが 生まれたため (生まれる 予定があっ たため)	子育て環 境をより良 くしたい ため				
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2					
年齢別	20～24 歳	237	73.8	4.6	11.8	0.8	4.6	11.4	0.4	1.7	0.4					
	25～29 歳	348	41.4	8.3	5.7	1.4	7.8	49.7	0.3	5.7	5.2					
	30～34 歳	342	25.4	10.5	0.3	2.6	18.1	53.5	1.2	5.8	8.5					
	35～39 歳	206	27.7	14.1	0.0	5.3	19.9	38.8	4.4	6.8	9.2					
	40 歳以上	153	28.8	7.8	0.0	7.8	25.5	30.7	9.2	1.3	8.5					
		(n)	ため 教育環 境をよ り良く したい	め 通勤・ 通学 に不便 であっ たため	が不便 であっ たため	バスや 電車な どの公 共交通 が不便 であっ たため	便であ ったた め	生活環 境(買 い物な ど)が 不便 であっ たため	の介護 が必要 になっ たため	親や子 ども等 との同 居、近 居が必 要にな ったた め(親 等の 介護が 必要に なっ たため)	わな なかつ たため	地域の 風潮、 風土、 文化が 合	育った まちで はない ため	自分ま たは家 族の生 まれ、	その他	不明・ 無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3					
年齢別	20～24 歳	237	0.4	17.7	5.9	1.7	2.1	0.8	0.0	2.5	0.0					
	25～29 歳	348	1.4	15.8	3.4	1.4	2.0	2.3	2.0	3.7	0.3					
	30～34 歳	342	2.0	12.6	5.8	4.1	2.6	1.5	3.8	4.7	0.0					
	35～39 歳	206	1.5	13.6	4.9	3.4	9.2	1.0	3.9	4.4	0.0					
	40 歳以上	153	4.6	14.4	7.8	6.5	5.9	2.6	3.3	3.9	0.0					

●年齢別にみると、20～24 歳は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、そのほかの年代は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。2 番目に多い回答は、20～24 歳は「通勤・通学に不便であったため」、そのほかの年代は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」となっています。「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は 40 歳以上のみ 20% 台となっています。

【性別 転出した理由】

		(n)	転勤、転職等 自分の仕事上の理由(就職、 転勤、転職等)	家族の仕事上の理由(就職、 転勤、転職等)	進学等 自分の学校上の理由(入学、 進学等)	進学等 家族の学校上の理由(入学、 進学等)	住宅事情(住宅購入、住み替 え等)	結婚のため(事実婚を含む)	離婚のため	子どもが生まれたため(生 まれる予定があったため)	子育て環境をより良くした ため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
性別	男性	558	48.0	6.6	5.2	3.6	17.4	34.6	1.1	4.8	7.7
	女性	725	32.8	11.0	2.8	2.6	11.4	43.6	3.2	4.6	5.1
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤・通学に不便であったた	が不便であったため バスや電車などの公共交通	便であったため 生活環境(買い物など)が不	親や子ども等との同居、近居 が必要になったため(親等の 介護が必要になったなど)	地域の風潮、風土、文化が合 わなかったため	自分または家族の生まれ、育 つたまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
性別	男性	558	2.3	15.9	5.0	3.2	3.4	1.4	3.6	4.1	0.0
	女性	725	1.4	13.9	5.5	3.0	4.0	1.8	1.8	3.7	0.1
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別 転出した理由】

		(n)	職、転勤、転職等) 自分の仕事上の理由(就 職、転勤、転職等)	家族の仕事上の理由(就 職、転勤、転職等)	学、進学等) 自分の学校上の理由(入 学、進学等)	学、進学等) 家族の学校上の理由(入 学、進学等)	住宅事情(住宅購入、住 み替え等)	結婚のため(事実婚を含 む)	離婚のため	子どもが生まれたため(生 まれる予定があったため)	子育て環境をより良くし たいため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	44.2	8.7	1.0	0.0	15.4	50.0	1.0	1.9	2.9
	夫婦のみの世帯	63	28.6	19.0	0.0	1.6	34.9	6.3	4.8	15.9	12.7
	子どものいる世帯	181	18.2	11.0	0.6	14.9	49.7	3.3	10.5	7.7	25.4
	親と同居世帯	772	45.2	7.5	5.2	0.8	4.9	48.3	0.4	2.6	1.9
	三世帯世帯	147	35.4	11.6	4.8	3.4	7.5	44.2	2.0	8.2	4.8
	その他の世帯	18	44.4	5.6	0.0	0.0	16.7	55.6	0.0	11.1	5.6
			(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤・通学に不便であったた	が不便であったため バスや電車などの公共交通	便であったため 生活環境(買い物など)が不	親や子ども等との同居、近 居が必要になったため(親等 の介護が必要になったなど)	地域の風潮、風土、文化が 合わなかったため	自分または家族の生まれ、 育ったまちではないため	その他
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	1.0	16.3	6.7	4.8	2.9	3.8	2.9	4.8	0.0
	夫婦のみの世帯	63	0.0	7.9	6.3	4.8	6.3	4.8	6.3	3.2	0.0
	子どものいる世帯	181	6.6	7.7	4.4	2.8	13.8	3.9	12.2	5.5	0.0
	親と同居世帯	772	0.8	16.8	5.3	3.0	1.4	0.4	0.4	3.1	0.1
	三世帯世帯	147	2.7	15.0	4.8	2.7	3.4	1.4	0.7	5.4	0.0
	その他の世帯	18	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0

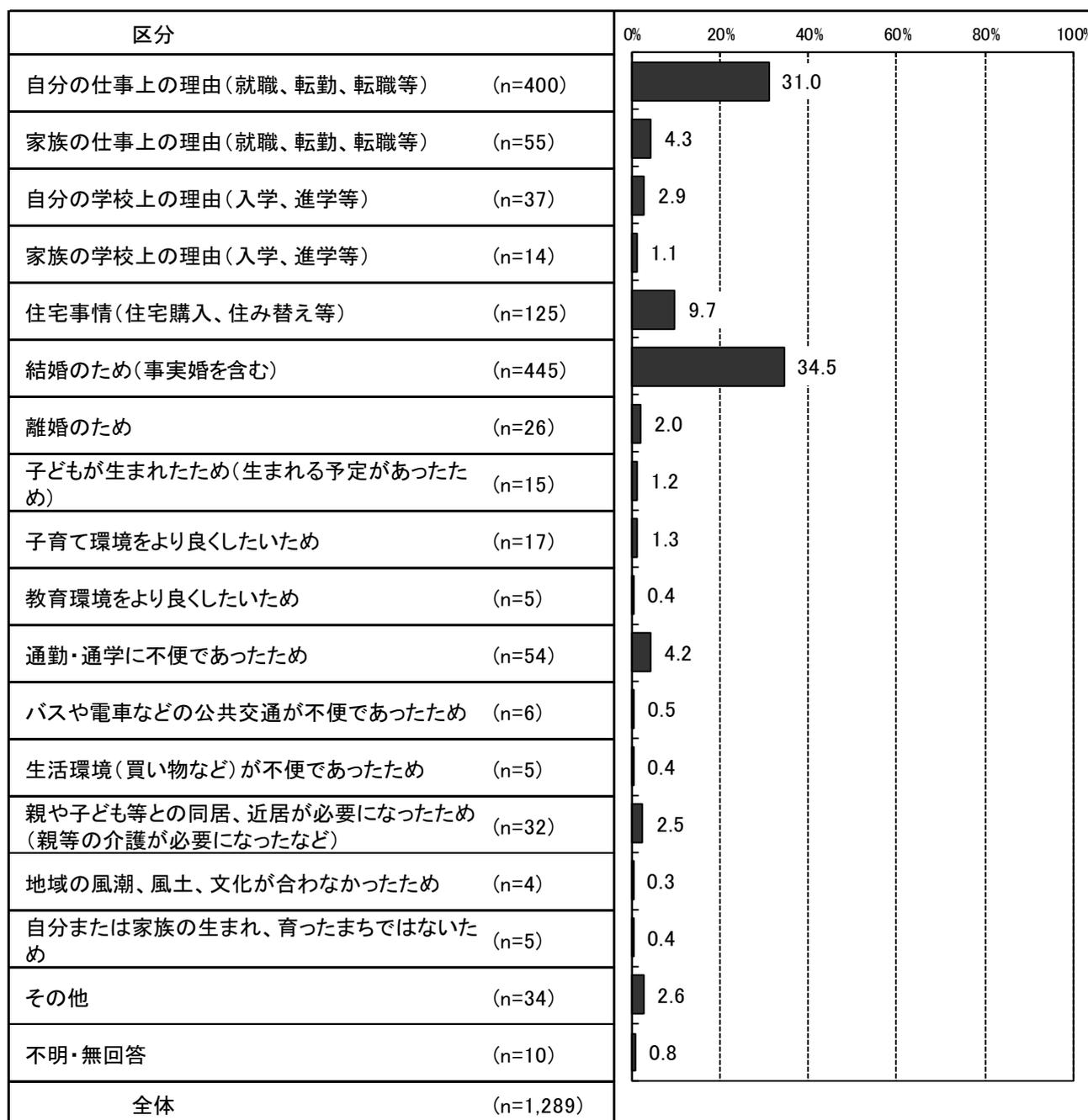
- 転出前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情(住宅購入、住み替え等)」、ほかの世帯は「結婚のため(事実婚を含む)」が最も多くなっています。
- 2番目に多い回答は、子どものいる世帯は「子育て環境をより良くしたいため」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由(就職、転勤、転職等)」となっています。

【現在（転出後）の世帯構成別 転出した理由】

	(n)	職、転勤、転職等） 自分の仕事上の理由（就	職、転勤、転職等） 家族の仕事上の理由（就	学、進学等） 自分の学校上の理由（入	学、進学等） 家族の学校上の理由（入	替え等） 住宅事情（住宅購入、住み	む） 結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体	1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	81.4	0.8	9.7	0.3	3.6	0.8	2.3	0.0
	夫婦のみの世帯	363	25.1	14.6	1.7	0.3	8.3	79.3	0.3	1.9
	子どものいる世帯	391	15.6	13.3	0.3	6.6	28.4	46.3	3.3	13.0
	親と同居世帯	51	27.5	11.8	0.0	0.0	23.5	25.5	5.9	0.0
	三世帯世帯	45	6.7	2.2	2.2	20.0	26.7	26.7	6.7	11.1
	その他の世帯	40	37.5	5.0	7.5	5.0	2.5	32.5	0.0	0.0
	(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤、通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	便であったため 生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体	1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.3	24.2	8.4	4.6	0.5	1.3	0.5	4.3
	夫婦のみの世帯	363	0.8	13.5	5.0	3.6	1.4	1.4	1.4	2.2
	子どものいる世帯	391	4.1	7.9	2.8	1.8	4.9	1.8	5.1	3.8
	親と同居世帯	51	0.0	7.8	3.9	2.0	11.8	0.0	2.0	5.9
	三世帯世帯	45	6.7	6.7	2.2	2.2	37.8	4.4	11.1	6.7
	その他の世帯	40	0.0	20.0	7.5	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0

- 現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・親と同居世帯・その他の世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、三世帯世帯は「親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）」が最も多くなっています。
- 「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯・親と同居世帯・三世帯世帯で20%台に対し、ほかの世帯は10%未満と差がみられます。
- 「通勤・通学に不便であったため」は、ひとり暮らし世帯・その他の世帯で20%台となっています。

■ 転出した理由で最も大きな理由



● 「結婚のため(事実婚を含む)」が 34.5%で最も多く、次いで「自分の仕事上の理由(就職、転勤、転職等)」が 31.0%、「住宅事情(住宅購入、住み替え等)」が 9.7%となっています。

【年齢別 転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	職、転勤、 転職等	職、転勤、 転職等	学、進学等	学、進学等	学、進学等	学、進学等	住宅事情 (住宅購入、住 み替え等)	結婚のため (事実婚を含 む)	離婚のため	子どもが 生まれたため (生まれる予 定があったた め)	子育て環 境をより良 くしたいた め		
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3				
年齢別	20～24 歳	237	67.1	3.0	9.7	0.0	1.7	8.9	0.4	0.8	0.0				
	25～29 歳	348	31.6	2.9	4.0	0.6	4.3	42.2	0.3	1.1	1.4				
	30～34 歳	342	18.7	5.0	0.0	1.2	12.6	48.0	0.9	1.2	2.0				
	35～39 歳	206	18.4	5.8	0.0	1.9	15.5	35.0	3.9	2.4	1.9				
	40 歳以上	153	19.0	5.9	0.0	2.6	20.3	26.8	8.5	0.0	0.7				
		(n)	ため 教育環 境をより良 くしたい	め 通勤・通 学に不便 であったた め	が不便 であったた め	バスや電 車などの 公共交通 が不便 であったた め	生活環 境(買い物 など)が 不便 であったた め	の介護 が必要に なったた め(親等 の同居、 近居が必 要になっ たため)	親や子 ども等 との同居 、近 居が必 要にな ったた め	わな なかつた ため	地域の 風潮、 風土、 文化が 合	育った まちで はない ため	自分 または 家族の 生まれ 、	その他	不明・ 無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8				
年齢別	20～24 歳	237	0.0	4.2	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	0.8				
	25～29 歳	348	0.0	5.7	0.3	0.9	1.1	0.9	0.3	1.4	0.9				
	30～34 歳	342	0.6	2.6	0.9	0.3	1.5	0.0	0.6	3.8	0.3				
	35～39 歳	206	0.0	2.9	0.0	0.5	6.3	0.0	0.5	4.4	0.5				
	40 歳以上	153	2.0	5.9	1.3	0.0	3.9	0.7	0.7	2.0	0.0				

- 年齢別にみると、20～24 歳は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、そのほかの年代は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。
- 「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は40 歳以上のみ20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別 転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	職、転勤、転職等) 自分の仕事上の理由(就	職、転勤、転職等) 家族の仕事上の理由(就	学、進学等) 自分の学校上の理由(入	学、進学等) 家族の学校上の理由(入	替え等) 住宅事情(住宅購入、住み	む) 結婚のため(事実婚を含む)	離婚のため	子どもが生まれたため(生まれる予定があつたため)	子育て環境をより良くしたいため		
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3		
性別	男性	558	37.8	1.4	3.8	1.3	11.3	29.6	0.9	1.4	1.6		
	女性	725	25.9	6.5	2.2	1.0	8.6	38.5	2.9	1.0	1.1		
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤・通学に不便であつた	不便であつたため バスや電車などの公共交通が	便であつたため 生活環境(買い物など)が不	介護が必要になつたため(親等の	親や子ども等との同居、近居	が必要になつたため(親等の	わなかつたため 地域の風潮、風土、文化が合	自分または家族の生まれ、育	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8		
性別	男性	558	0.5	3.9	0.2	0.2	2.2	0.4	0.5	2.5	0.5		
	女性	725	0.3	4.4	0.7	0.6	2.6	0.3	0.3	2.8	0.6		
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別 転出した理由で最も大きな理由】

	(n)	職、転勤、転職等) 自分の仕事上の理由(就	職、転勤、転職等) 家族の仕事上の理由(就	学、進学等) 自分の学校上の理由(入	学、進学等) 家族の学校上の理由(入	替え等) 住宅事情(住宅購入、住	む) 結婚のため(事実婚を含	離婚のため	子どもが生まれたため(生	たいため 子育て環境をより良くし	
全体	1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3	
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	33.7	2.9	0.0	0.0	6.7	42.3	0.0	0.0	
	夫婦のみの世帯	63	23.8	17.5	0.0	1.6	27.0	3.2	3.2	11.1	
	子どものいる世帯	181	14.4	5.0	0.0	6.1	37.6	2.8	9.9	1.1	
	親と同居世帯	772	35.8	3.0	3.9	0.1	3.2	42.6	0.4	0.4	
	三世帯世帯	147	28.6	5.4	4.8	0.7	4.8	38.8	2.0	2.0	
	その他の世帯	18	27.8	5.6	0.0	0.0	5.6	44.4	0.0	0.0	
		(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤・通学に不便であったた	不便であったため バスや電車などの公共交通が	不便であったため 生活環境(買い物など)が不	親や子ども等との同居、近居 が必要になったため(親等の 介護が必要になったなど)	地域の風潮、風土、文化が合 わなかったため	自分または家族の生まれ、育 つたまちではないため	その他	不明・無回答
全体	1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8	
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	0.0	4.8	1.0	0.0	1.9	1.9	1.0	3.8	0.0
	夫婦のみの世帯	63	0.0	0.0	1.6	1.6	3.2	1.6	0.0	1.6	0.0
	子どものいる世帯	181	1.7	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	2.2	3.9	1.1
	親と同居世帯	772	0.1	5.4	0.5	0.5	0.9	0.1	0.0	1.9	0.5
	三世帯世帯	147	0.7	4.1	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	4.1	0.7
	その他の世帯	18	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」、ほかの世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」となっており、2番目に多い回答は世帯構成に関わらず「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」となっています。

●「家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」は夫婦のみの世帯のみ 10%台と、ほかの世帯より 10 ポイント以上多くなっています。

【現在の世帯構成別 転出した理由で最も大きな理由】

	(n)	職、転勤、転職等) 自分の仕事上の理由(就	職、転勤、転職等) 家族の仕事上の理由(就	学、進学等) 自分の学校上の理由(入	学、進学等) 家族の学校上の理由(入	住宅事情(住宅購入、住み 替え等)	結婚のため(事実婚を含 む)	離婚のため	子どもが生まれたため(生 まれる予定があったため)	子育て環境をより良くし たいため
全体	1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	73.3	0.8	7.1	0.0	1.8	0.5	1.8	0.0
	夫婦のみの世帯	363	12.7	5.5	1.1	0.0	5.5	68.9	0.3	0.3
	子どものいる世帯	391	9.5	6.6	0.3	2.8	20.2	40.7	3.1	4.1
	親と同居世帯	51	21.6	7.8	0.0	0.0	19.6	25.5	5.9	0.0
	三世帯世帯	45	2.2	0.0	2.2	4.4	17.8	22.2	6.7	4.4
	その他の世帯	40	35.0	5.0	7.5	2.5	2.5	27.5	0.0	0.0
	(n)	ため 教育環境をより良くしたい	め 通勤・通学に不便であったた	が不便であったため バスや電車などの公共交通	便であったため 生活環境(買い物など)が不	親や子ども等との同居、近 居が必要になったため(親等 の介護が必要になったなど)	地域の風潮、風土、文化が 合わなかったため	自分または家族の生まれ、 育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体	1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.0	9.2	0.8	1.0	0.0	0.5	0.0	2.5
	夫婦のみの世帯	363	0.0	2.8	0.3	0.3	0.6	0.6	0.0	0.8
	子どものいる世帯	391	1.3	1.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.8	3.1
	親と同居世帯	51	0.0	0.0	3.9	0.0	9.8	0.0	0.0	3.9
	三世帯世帯	45	0.0	0.0	0.0	0.0	28.9	0.0	4.4	6.7
	その他の世帯	40	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

- 現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、三世帯世帯は「親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）」、ほかの世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。
- 「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯のみ20%台となっています。

問9 現在のお住まい（転出先）を決めるにあたり、転出先の行政サービスや事業、取組を調べましたか。【1つに〇】

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
調べた	(n=246)						
調べていない	(n=1,031)						
不明・無回答	(n=12)						
全体	(n=1,289)						

●「調べていない」が80.0%、「調べた」が19.1%となっています。

【年齢別・転出前の世帯構成別 転出先の行政サービス等の情報の収集状況】

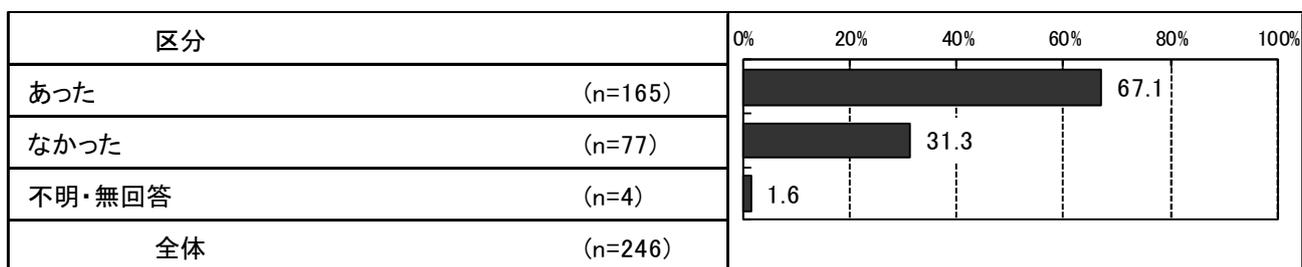
		(n)	調べた	調べていない	不明・無回答
全体		1,289	19.1	80.0	0.9
年齢別	20～24歳	237	11.8	86.9	1.3
	25～29歳	348	16.1	83.0	0.9
	30～34歳	342	25.7	73.7	0.6
	35～39歳	206	24.3	75.2	0.5
	40歳以上	153	15.0	83.0	2.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	14.4	85.6	0.0
	夫婦のみの世帯	63	22.2	77.8	0.0
	子どものいる世帯	181	40.9	58.6	0.6
	親と同居世帯	772	15.4	83.3	1.3
	三世帯世帯	147	15.0	85.0	0.0
	その他の世帯	18	5.6	88.9	5.6

●年齢別みると、どの年代も「調べていない」が最も多くなっています。「調べた」は30～39歳の年代で20%台となっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「調べていない」が最も多くなっています。「調べた」は、子どものいる世帯のみ40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

問9で「1. 調べた」と答えた方におうかがいします。

問10 調べた転出先の行政サービスや事業、取組において、魅力を感じたものはありましたか。  
【1つに〇】



●「あった」が67.1%、「なかった」が31.3%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別 魅力を感じた転出先の行政サービス等の有無】

※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	あった	なかった	不明・無回答
全体		246	67.1	31.3	1.6
年齢別	20～24歳	28	46.4	50.0	3.6
	25～29歳	56	71.4	25.0	3.6
	30～34歳	88	71.6	28.4	0.0
	35～39歳	50	64.0	36.0	0.0
	40歳以上	23	73.9	21.7	4.3
転出先の県下地域別	神戸地域	20	25.0	70.0	5.0
	阪神南地域	17	70.6	29.4	0.0
	阪神北地域	4	25.0	50.0	25.0
	東播磨地域	110	86.4	12.7	0.9
	北播磨地域	20	70.0	30.0	0.0
	中播磨地域	13	30.8	69.2	0.0
	西播磨地域	2	100.0	0.0	0.0
	但馬地域	3	100.0	0.0	0.0
	丹波地域	1	0.0	100.0	0.0
	淡路地域	2	0.0	100.0	0.0

- 年齢別にみると、20～24歳は「なかった」、そのほかの年代は「あった」が最も多くなっています。
- 転出先の県下地域別にみると、阪神南地域・東播磨地域・北播磨地域は「あった」、神戸地域・中播磨地域は「なかった」が最も多くなっています。

■魅力を感じた行政サービスや事業、取組【自由記述】

●兵庫県下

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
明石市(59件)	○児童医療無償化、保育園2人目無料。
	○子育て支援政策。
	○子育て施策に力を入れている(こども広場など)。
	○子育て支援の充実。
	○保育園が二人目から無料。15歳まで医療費の助成、妊娠の助成金。
	○保育施設の充実、子どもの医療費が無料。
	○子どもの保育費、医療費が安い。
	○子育て支援。子育てサービスの充実。
	○子育て支援。
	○子育て事業に力を入れている。
	○子育て支援。
	○第2子保育料無料。
	○子どもの医療制度(無償化)。
	○子育て支援の充実度。
	○保育料が無料となる。
	○子どもの医療費が中学校3年生まで無料。幼稚園は3歳から入園でき、預かり保育ができる。中学校給食が実施されている。
	○子どもの医療費無償化等、育児政策に力を入れているところ。
	○子育てサービス。子どもの医療費無料。
	○子育て。
	○第2子以降の保育料無料。子どもの外来、入院医療費負担なし。
	○子育て支援に力を入れている。
	○教育関連に力を入れている点。
	○子どもへの支援が手厚い。
	○今後子どもを出産した時に、中学生まで医療が無料であるという点。
	○保育料2人目無償化。
	○子育て支援が充実していた(医療費の無償化等)。
	○子育て環境。
	○子どもの医療費無料(0~15歳まで)。保育料が2人目無料。
	○子育て環境が充実している。
	○中学生まで健康保険が無料で子育てにも安心。
○子育て支援が充実していた。	
○子育て支援。	
○子ども医療費助成に所得制限がない。第2子以降の保育料の無償。	
○子育て支援、教育制度。	

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	○子育てに力を入れている。
	○子育て環境。
	○子育てに優しい。子ども2人以降保育料無料など。
	○子どもの医療費の保障。
	○子育てするのによいと思った。2人目から無料(学費)。
	○子育て支援。
	○子育て。
	○子どもの医療費無料。
	○子育て支援が手厚かったため(中学3年生まで医療費無料など)。
	○子育てに関する事。
	○子育てしやすい。
	○子育て支援に力を入れているところに魅力を感じました。
	○子育て支援。
	○15才まで医療費無料、保育園2人目無料。
	○子育て環境に力を入れていたところが魅力的だった。
	○子育て世帯に優しい取り組みに力を入れている。
	○子育て支援。
	○子育て。
	○子育てに手厚い。
	○子育て支援が手厚い。
	○子育て支援に力を入れていたため。
	○保育料2人目から無料。中学校給食導入→のちに給食代無料化。中3まで医療費無料。
	○子育て支援。
	○子どもの医療費。
	○子育て世代への行政サービス。
高砂市(13件)	○新婚世帯家賃等補助金。
	○上下水道料金の違い、住民税の違い。
	○中学校まで医療費が無料。水道代。が安い。(現在では同じ)保育園に入りやすい。
	○新婚世帯に家賃補助金制度。
	○新婚世帯家賃補助。
	○住宅購入時の初年度固定資産税の返金。
	○3歳児から5歳児の給食費を無償化。中学3年生まで医療費の自己負担額の無料化。
	○乳幼児等医療費助成。
	○新婚世帯手当(月1万円×12ヵ月)。待機児童なし。
	○水道料金が安い。
	○結婚したら一定の所得以下であれば毎月1万円の支給がある。
	○子育て支援内容。
	○水道料金が安い。中学生までの医療費が無料。

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
播磨町(11件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援が充実。子どもがのびのび育てられそう。</li> <li>○産後の助産師訪問。ベビーグッズのレンタル。</li> <li>○市民税の安さ。</li> <li>○中学3年生まで所得制限なく医療費が無料。</li> <li>○子どもに優しい。</li> <li>○子どもの医療費。</li> <li>○中学校給食が実施されている。</li> <li>○子どもの医療費が中学3年生まで出ること。</li> <li>○子ども医療費無料。中学校給食。</li> <li>○中学校に給食がある。医療費が中学3年まで無料。</li> <li>○医療費助成。待機児童の数。給食。</li> </ul>
小野市(9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの医療費18歳まで無料。</li> <li>○子育て事業の先駆。</li> <li>○高校生まで医療費無料。</li> <li>○医療費無料(子ども18まで)。</li> <li>○子育て支援 高校3年生まで医療費が無料など。</li> <li>○保育料の3割を市が負担してくれる。</li> <li>○子育て支援がよい。</li> <li>○子育て支援が手厚い。</li> <li>○子どもの医療費助成。高校生まで医療費完全無料。</li> </ul>
西宮市(8件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○治安。子育ての充実。</li> <li>○DV被害支援があった 自助グループがあった。</li> <li>○教育環境の充実。</li> <li>○子どもの医療費助成制度。風しん予防接種の助成制度。</li> <li>○加古川市では子ども手当が支給されなかったが西宮市では支給されるようになった。</li> <li>○保育士事業。保育制度の充実。</li> <li>○子育て。</li> </ul>
稲美町(7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○17時になると子どもに家へ帰るように放送が流れる、これだけでも子育てに重点をおいていると思う。</li> <li>○親元と同じ町に戻ってくことで18万円分の商品券がもらえる。</li> <li>○中学3年生まで医療費が無料。出産祝いもらえる。</li> <li>○子どもの医療費助成制度。</li> <li>○子育て支援が充実していたから。</li> <li>○中学校給食。15歳まで医療費無料。</li> <li>○出産後、お米券プレゼント。</li> </ul>
神戸市(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シティハイツ制度。新婚他市からの転入者への支援制度。子育て支援。</li> <li>○市バスの本数が多くて便利なところ。</li> <li>○資源への取り組み。</li> </ul>

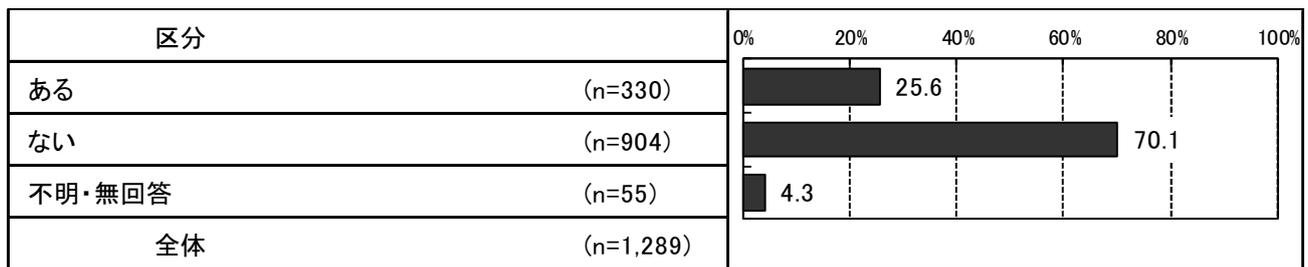
自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	○子育て支援等。 ○”精神手帳3級”ですが福祉乗車証で、市バスやポートライナー、六甲ライナー、地下鉄が無料で利用できるのを通院や買い物、用事等で出掛けやすく交通費の負担が少なくて済む。元々、勤めていた場所や職場で、行政サービスを知っていた。
姫路市(5件)	○女性の保護シェルターやお米の貸し出しをしてくれる NPO 法人の紹介、住宅がない人への相談窓口。 ○これから栄えるところ。 ○風しん対策万全。 ○新生児の聴力検査を無料で受けられるようになったこと。 ○文教住宅都市の通り街の都市開発が進んでいたり、小学校の新設も多くて子育てするのに安心できる環境である。
西脇市(2件)	○播州織のデザイナー育成及び起業支援補助・空き家等を利用、改修した IT 関連事業所開設の補助(市による上乘せ)。 ○ファッション都市構想。
相生市	○子育てに対する支援(手当て)がよかった。
芦屋市	○市の税収が多いため、行政サービスが行き届いている。
加古川市	○子育てサービスの充実。
たつの市	○未就学児保育・子どもの医療費無償(中学3年生まで)。
豊岡市	○城崎町民は外湯を100円で利用可能。
三木市	○子育て支援(医療費助成など)。
加西市	○新婚世帯向け家賃補助制度。こども医療費助成制度。
朝来市	○都会からの田舎暮らし、家賃補助制度に魅力を持った。
養父市	○国家戦略特区。

●兵庫県以外

都道府県	自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
茨城県	守谷市	○通勤に便利。
群馬県	前橋市	○子育て施設、支援について。
千葉県	船橋市	○子供の医療費補助。
東京都(6件)	杉並区	○待機児童ゼロ、保育施設の充実。
	墨田区	○不妊治療への助成金。
	千代田区	○2年ごとの健康診断。
	練馬区	○待機児童の解消に積極的だった。
	葛飾区	○調べたが結局、土地の値段の安い区に住むことになった。子育てに手あつい所は魅力的である。しかし、葛飾区は健康診査が毎年無料で受け、40歳以上はもう少し検査ができるこれはすばらしい。子ども2人以上で電動自転車購入の補助がある。

都道府県	自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	足立区	○防災無線を使い下校の見守りや振り込め詐欺などへの注意喚起をしている。
神奈川県(2件)	川崎市	○子育てに優しい。治安がよい。
	横浜市	○妊産婦への行政サービス→ホームヘルパー派遣が1日2時間で1,500円と安い。また、母子手帳のデザインがかわいい。
富山県	氷見市	○子育て支援。
滋賀県	大津市	○子育て環境がよかった。
京都府(2件)	京都市	○子どもの医療手当。
	福知山市	○住民票を移した者への助成金制度。
大阪府(5件)	大阪市(2件)	○都市再生、リノベーションプロジェクト。
		○児童館などが充実している。
	吹田市(2件)	○こども医療費の助成が中学生までである。
		○子育て支援。
豊中市	○こどもの医療費助成が15歳までだったのが18歳までになった。	
和歌山県	日高川町	○移住奨励金、空き家改修費補助など。
岡山県	備前市	○保育料無料。
山口県	宇部市	○引越助成金。
佐賀県	三養基郡基山町	○不妊治療の助成金。
宮崎県	宮崎市	○移住支援金。

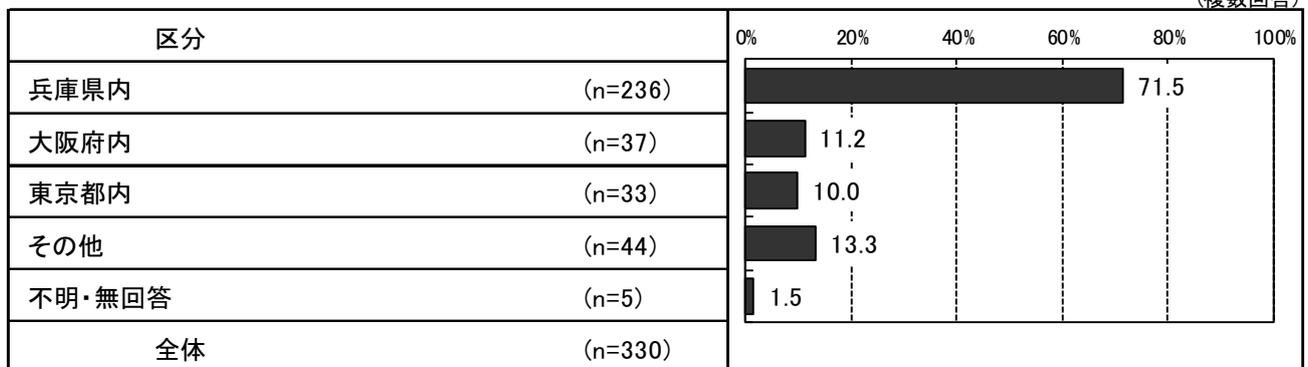
問 11 現在のお住まい（転出先）以外に住むことを検討した市区町村はありますか。【1つに○】  
また、「1. ある」と答えた方は、その市区町村をご記入ください。



● 「ない」が70.1%、「ある」が25.6%となっています。

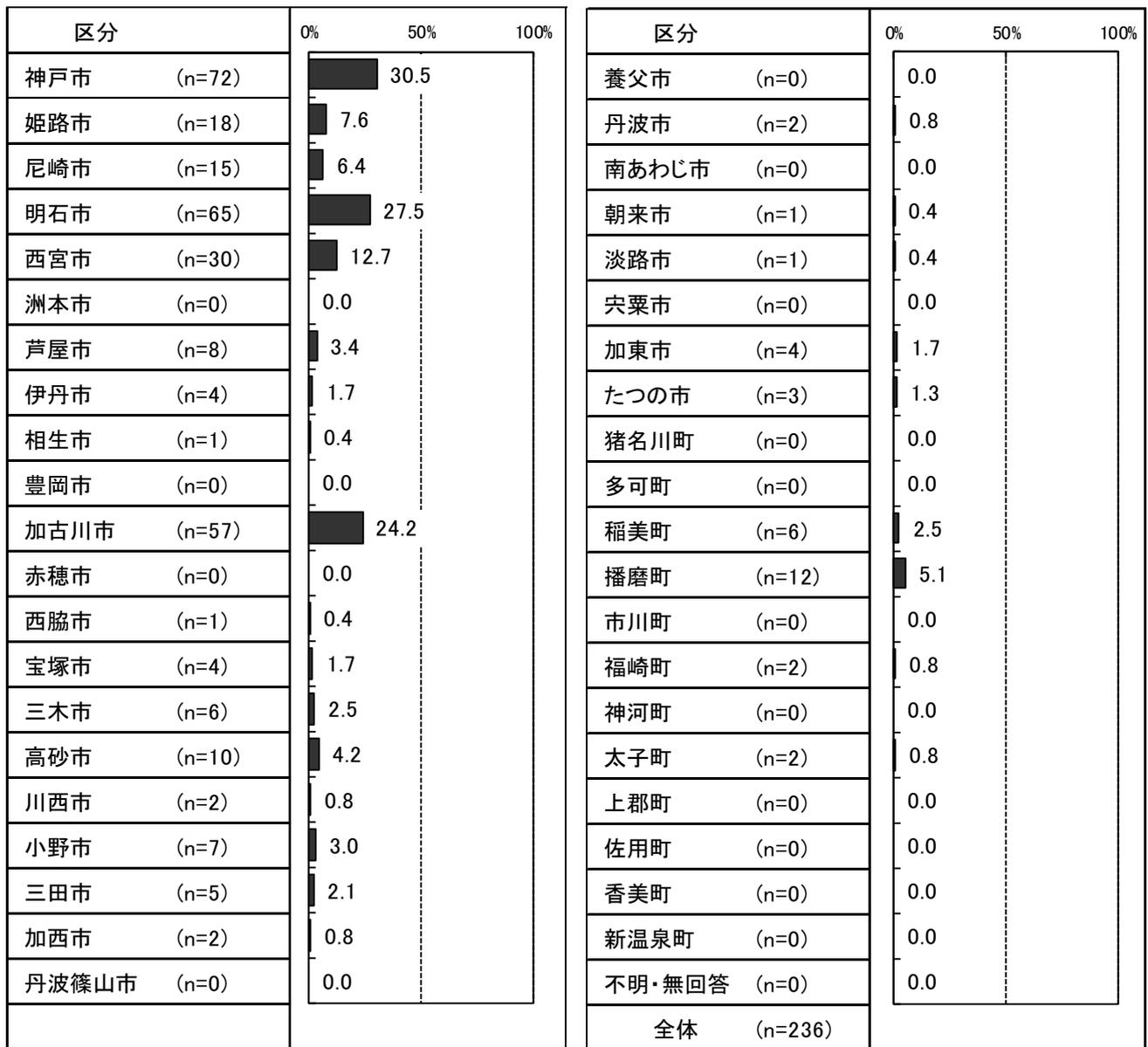
■現在の住まい以外に検討した都道府県

(複数回答)



● 「兵庫県内」が71.5%で最も多く、次いで「その他」が13.3%、「大阪府内」が11.2%となっています。

■現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町



●「神戸市」が30.5%で最も多く、次いで「明石市」が27.5%、「加古川市」が24.2%となっています。

【年齢別 現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		236	30.5	7.6	6.4	27.5	12.7	0.0	3.4	1.7	0.4	0.0	24.2	0.0	0.4	1.7
年齢別	20～24歳	16	37.5	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3
	25～29歳	61	31.1	4.9	4.9	27.9	21.3	0.0	4.9	4.9	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	3.3
	30～34歳	83	28.9	7.2	4.8	34.9	6.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	34.9	0.0	1.2	0.0
	35～39歳	40	35.0	2.5	7.5	25.0	10.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	2.5
	40歳以上	35	25.7	22.9	2.9	20.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	17.1	0.0	0.0	0.0
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		236	2.5	4.2	0.8	3.0	2.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.4	0.0	1.7
年齢別	20～24歳	16	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	61	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
	30～34歳	83	3.6	7.2	0.0	4.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
	35～39歳	40	2.5	5.0	2.5	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳以上	35	2.9	2.9	0.0	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9
		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神戸町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		236	1.3	0.0	0.0	2.5	5.1	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20～24歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	61	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34歳	83	1.2	0.0	0.0	3.6	6.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳	40	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳以上	35	2.9	0.0	0.0	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、20～24歳は「神戸市」と「西宮市」、30～34歳は「明石市」と「加古川市」、そのほかの年代は「神戸市」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別 現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町】

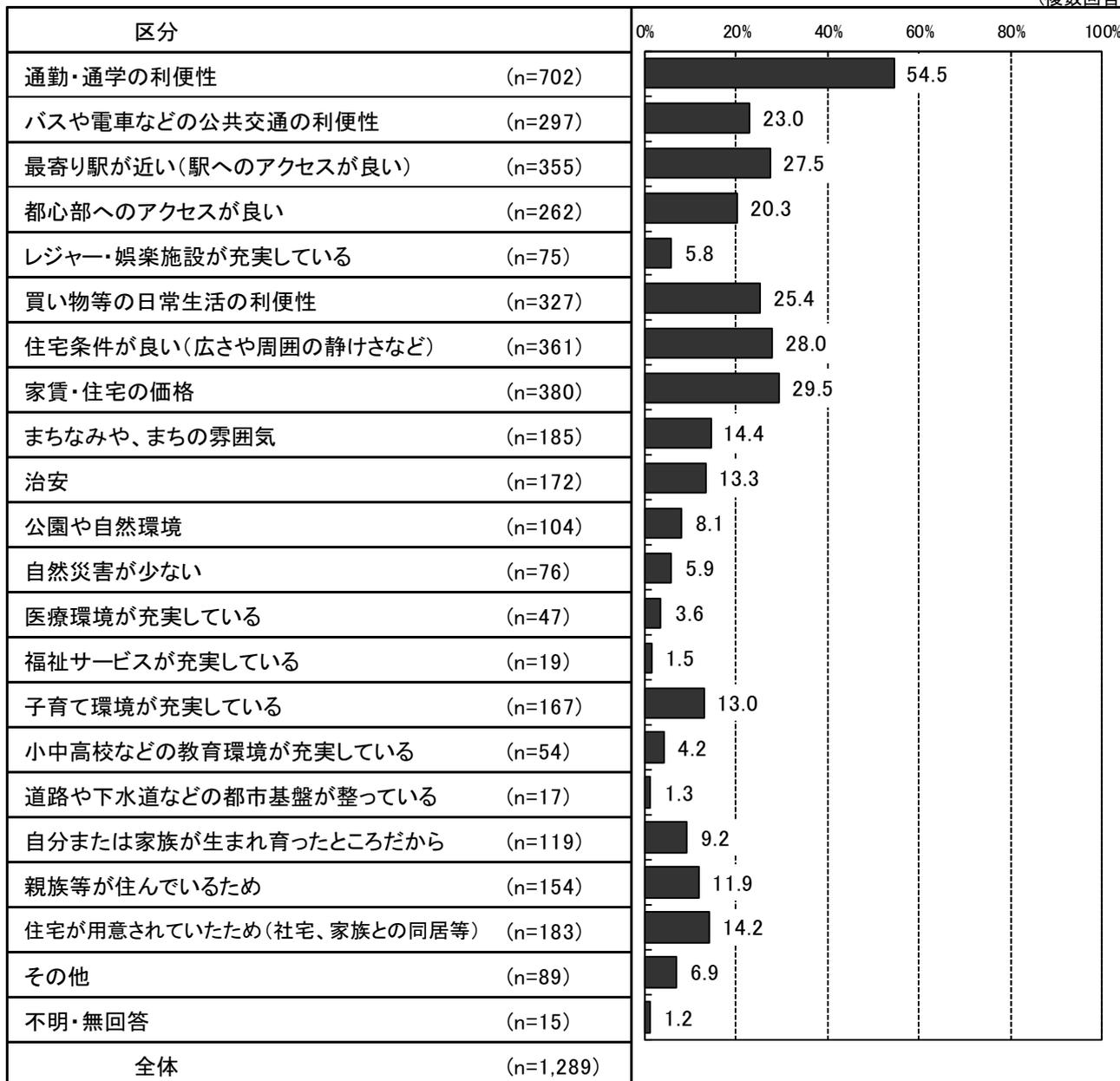
		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		236	30.5	7.6	6.4	27.5	12.7	0.0	3.4	1.7	0.4	0.0	24.2	0.0	0.4	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	43.3	3.3	0.0	30.0	13.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	3.3
	夫婦のみの世帯	18	33.3	16.7	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0
	子どものいる世帯	44	9.1	18.2	2.3	34.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0	2.3	0.0
	親と同居世帯	116	33.6	4.3	9.5	20.7	17.2	0.0	3.4	2.6	0.9	0.0	22.4	0.0	0.0	2.6
	三世帯世帯	23	34.8	4.3	13.0	34.8	21.7	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		236	2.5	4.2	0.8	3.0	2.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.4	0.0	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	13.3	6.7	0.0	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	夫婦のみの世帯	18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	子どものいる世帯	44	2.3	9.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	親と同居世帯	116	0.0	3.4	0.9	2.6	3.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	三世帯世帯	23	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		236	1.3	0.0	0.0	2.5	5.1	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	18	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どものいる世帯	44	0.0	0.0	0.0	2.3	18.2	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親と同居世帯	116	0.9	0.0	0.0	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世帯世帯	23	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・親と同居世帯は「神戸市」、夫婦のみの世帯は「明石市」と「加古川市」、子どものいる世帯は「加古川市」、三世帯世帯は「神戸市」と「明石市」が最も多くなっています。

問 12 現在のお住まい（転出先）を選んだ際、決め手となったことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、決め手となった理由のうち、最も大きな理由を1つ、回答欄にご記入ください。

■ 転出先として決め手となった理由

(複数回答)



● 「通勤・通学の利便性」が 54.5%で最も多く、次いで「家賃・住宅の価格」が 29.5%、「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」が 28.0%となっています。

【年齢別 転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
年齢別	20～24 歳	237	62.9	21.5	27.4	21.9	6.3	21.9	18.1	32.1	9.3	11.0	2.5
	25～29 歳	348	56.0	27.9	27.0	23.6	7.5	28.2	26.7	30.5	15.8	15.5	8.3
	30～34 歳	342	54.1	25.1	31.3	21.6	5.6	27.2	31.3	29.2	16.1	13.5	10.2
	35～39 歳	206	49.0	19.9	25.7	18.9	4.4	19.9	36.4	28.6	17.5	13.1	7.8
	40 歳以上	153	45.1	13.7	22.9	9.2	3.3	26.8	26.8	24.2	11.1	12.4	11.8
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	基盤が整っている	道路や下水道などの都市育ったところだから	自分または家族が生まれ親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
年齢別	20～24 歳	237	3.0	0.8	1.3	3.8	0.8	0.8	2.5	5.1	23.2	3.8	1.7
	25～29 歳	348	5.2	3.4	1.4	10.6	4.0	0.6	9.5	9.2	14.1	5.5	0.6
	30～34 歳	342	7.3	5.0	1.2	17.8	4.4	1.5	9.6	11.4	10.2	5.6	1.2
	35～39 歳	206	5.8	3.9	0.5	18.9	6.3	1.0	11.2	18.0	11.2	10.2	1.0
	40 歳以上	153	9.2	5.2	3.9	13.7	6.5	3.9	15.7	21.6	13.7	13.7	2.0

●年齢別にみると、どの年代も「通勤・通学の利便性」が最も多く、20～24 歳は 60%を超えています。

●2 番目に多い回答は、20～29 歳の年代は「家賃・住宅の価格」、30～34 歳は「最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)」と「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」、35～39 歳は「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」、40 歳以上は「買い物等の日常生活の利便性」と「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」となっています。

【転出先の県下地域別 転出先として決め手となった理由】 ※n数が10件以下は分析の対象外

	(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境	
全体	1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1	
転出先の県下地域別	神戸地域	190	62.1	33.7	38.4	30.0	9.5	30.5	25.3	25.8	18.9	10.5	6.8
	阪神南地域	76	63.2	35.5	38.2	42.1	9.2	30.3	28.9	25.0	26.3	18.4	5.3
	阪神北地域	27	48.1	25.9	29.6	25.9	7.4	14.8	44.4	29.6	33.3	40.7	22.2
	東播磨地域	308	48.1	20.8	28.9	8.8	3.9	24.4	35.7	33.1	13.3	11.4	10.7
	北播磨地域	47	29.8	2.1	2.1	2.1	0.0	14.9	46.8	34.0	10.6	12.8	14.9
	中播磨地域	119	48.7	17.6	20.2	10.1	8.4	31.1	26.1	23.5	10.9	7.6	5.0
	西播磨地域	21	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5	14.3	4.8	14.3	14.3
	但馬地域	12	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0
	淡路地域	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3
	(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中学校などの教育環境が充実している	基盤が整っている	道路や下水道などの都市育ったところだから	自分または家族が生まれ親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答	
全体	1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2	
転出先の県下地域別	神戸地域	190	5.3	4.2	2.1	4.2	4.2	0.5	9.5	8.9	11.1	5.8	2.6
	阪神南地域	76	3.9	2.6	3.9	7.9	6.6	2.6	2.6	1.3	18.4	7.9	1.3
	阪神北地域	27	11.1	0.0	0.0	7.4	14.8	3.7	11.1	18.5	0.0	7.4	0.0
	東播磨地域	308	7.5	5.5	2.9	30.8	6.8	1.0	12.7	16.2	6.2	8.1	1.0
	北播磨地域	47	4.3	10.6	0.0	25.5	6.4	4.3	29.8	25.5	21.3	10.6	0.0
	中播磨地域	119	5.0	3.4	0.8	4.2	3.4	4.2	14.3	15.1	13.4	11.8	0.8
	西播磨地域	21	9.5	4.8	0.0	23.8	4.8	0.0	19.0	19.0	28.6	14.3	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	8.3
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0

●転出先の県下地域別にみると、北播磨地域は「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」、その他の地域は「通勤・通学の利便性」が最も多く、「通勤・通学の利便性」は神戸地域・阪神南地域は60%を超えて多くなっています。

【転出前の世帯構成別 転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	51.0	22.1	27.9	14.4	4.8	22.1	32.7	29.8	19.2	16.3	9.6
	夫婦のみの世帯	63	44.4	25.4	31.7	15.9	6.3	31.7	34.9	42.9	9.5	15.9	7.9
	子どものいる世帯	181	31.5	14.4	21.5	7.2	3.3	20.4	38.1	22.7	16.6	18.2	17.7
	親と同居世帯	772	59.1	24.1	28.5	24.1	7.0	26.4	26.0	31.1	14.0	12.7	6.6
	三世帯世帯	147	63.9	25.9	25.9	23.8	2.7	23.1	19.0	25.2	13.6	8.8	3.4
	その他の世帯	18	61.1	38.9	44.4	11.1	5.6	38.9	22.2	11.1	5.6	5.6	5.6
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	5.8	0.0	1.9	7.7	5.8	1.9	9.6	14.4	13.5	6.7	0.0
	夫婦のみの世帯	63	7.9	7.9	4.8	19.0	4.8	0.0	9.5	17.5	12.7	9.5	0.0
	子どものいる世帯	181	12.7	7.2	2.2	35.9	13.3	3.9	23.8	29.8	9.4	10.5	1.1
	親と同居世帯	772	4.7	2.8	0.9	8.4	1.9	0.6	6.0	7.6	15.7	6.0	1.4
	三世帯世帯	147	3.4	3.4	2.0	10.2	4.1	2.0	8.8	6.8	14.3	6.1	0.0
	その他の世帯	18	5.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	11.1	11.1

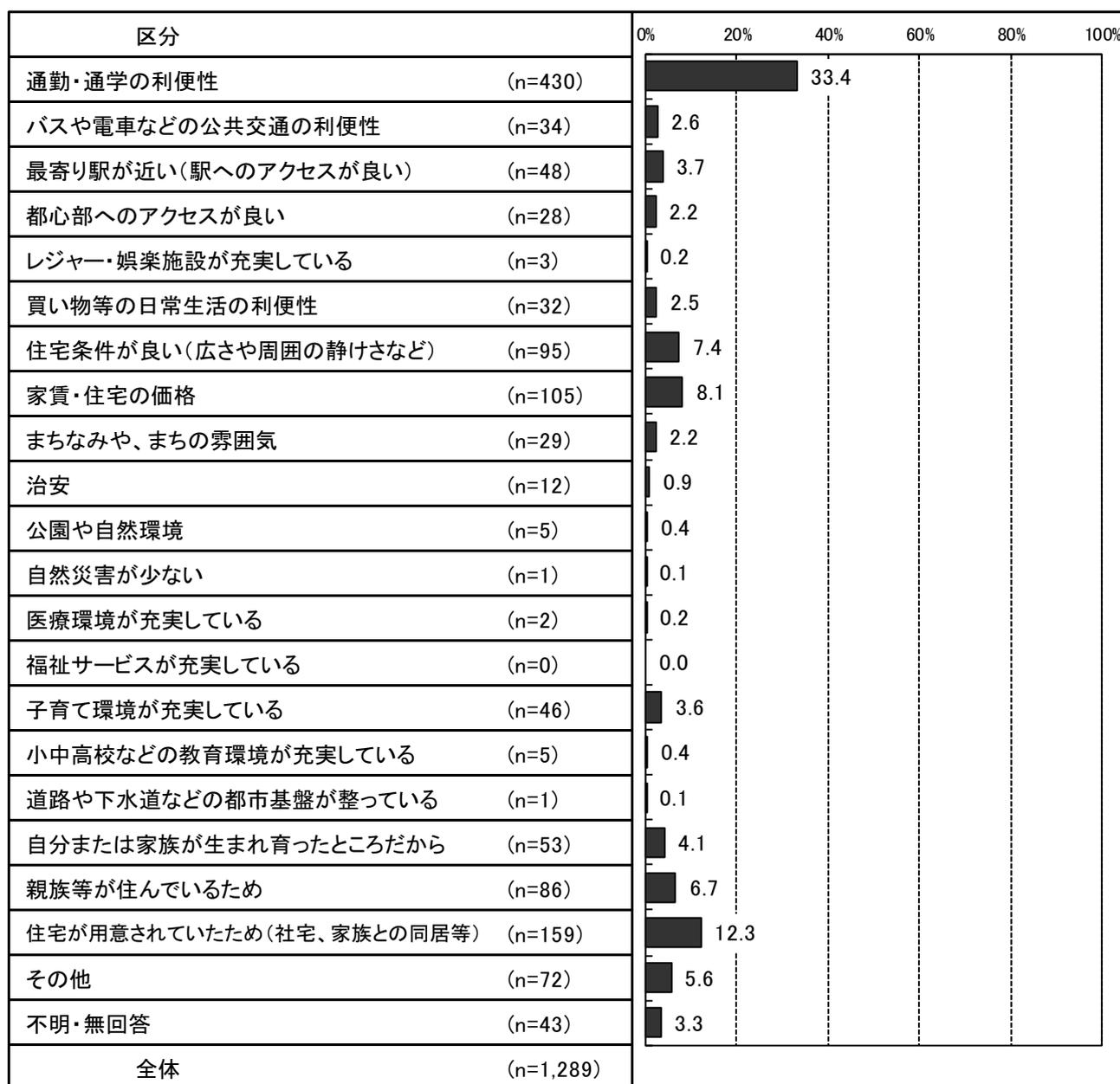
- 転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。
- 子どものいる世帯は「通勤・通学の利便性」は30%台と、ほかの世帯より低くなっていますが、「子育て環境が充実している」「自分または家族が生まれ育ったところだから」「親族等が住んでいるため」はほかの世帯より多くなっています。
- 「家賃・住宅の価格」は夫婦のみの世帯のみ40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在の世帯構成別 転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	利便性	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1	
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	71.2	26.2	29.8	25.7	7.9	23.2	18.8	32.3	13.2	10.7	3.1	
	夫婦のみの世帯	363	57.9	28.7	29.8	23.4	6.9	29.8	34.2	29.8	14.0	15.2	6.6	
	子どものいる世帯	391	42.5	17.4	25.3	13.3	3.6	26.1	33.2	30.2	15.1	14.6	13.8	
	親と同居世帯	51	21.6	13.7	15.7	9.8	2.0	9.8	17.6	7.8	17.6	11.8	9.8	
	三世代世帯	45	13.3	4.4	8.9	4.4	0.0	15.6	22.2	11.1	13.3	15.6	13.3	
	その他の世帯	40	60.0	30.0	42.5	35.0	7.5	30.0	30.0	35.0	17.5	10.0	7.5	
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答	
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2	
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	2.8	1.3	0.8	0.0	0.0	0.5	0.8	0.8	18.8	3.3	2.0	
	夫婦のみの世帯	363	5.8	4.4	1.7	9.4	3.6	0.8	7.2	9.9	11.3	7.2	1.7	
	子どものいる世帯	391	8.4	5.9	2.3	30.4	9.5	2.0	15.9	18.4	7.4	11.0	0.3	
	親と同居世帯	51	7.8	2.0	2.0	3.9	2.0	3.9	15.7	25.5	31.4	7.8	0.0	
	三世代世帯	45	13.3	2.2	0.0	22.2	6.7	4.4	44.4	60.0	37.8	2.2	0.0	
	その他の世帯	40	2.5	2.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	5.0	0.0	

- 現在（転出後）の世帯構成別にみると、親と同居世帯は「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」、三世代世帯は「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。
- 「子育て環境が充実している」は子どものいる世帯のみ30%台と、ほかの世帯より多くなっています。
- 「自分または家族が生まれ育ったところだから」は三世代世帯のみ40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

■ 転出先として決め手となった最も大きな理由



● 「通勤・通学の利便性」が 33.4%で最も多く、次いで「住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)」が 12.3%、「家賃・住宅の価格」が 8.1%となっています。

【年齢別 転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
年齢別	20～24 歳	237	43.0	2.5	5.1	3.4	0.0	1.3	3.4	8.0	1.3	0.4	0.0
	25～29 歳	348	36.5	3.7	3.7	0.6	0.3	2.6	5.2	9.8	3.7	1.4	0.6
	30～34 歳	342	30.4	2.9	4.1	2.9	0.3	3.8	9.6	6.4	2.0	0.6	0.9
	35～39 歳	206	25.7	1.9	1.5	2.9	0.0	1.9	9.2	10.2	1.5	1.9	0.0
	40 歳以上	153	28.1	0.7	3.9	0.7	0.7	2.0	10.5	5.9	2.0	0.0	0.0
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	基盤が整っている	道路や下水道などの都市育ったところだから	自分または家族が生まれ親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
年齢別	20～24 歳	237	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	1.3	3.8	19.0	3.0	3.8
	25～29 歳	348	0.0	0.3	0.0	3.2	0.0	0.0	4.0	3.7	13.2	4.3	3.2
	30～34 歳	342	0.3	0.3	0.0	7.3	0.3	0.0	5.6	5.8	9.1	4.4	2.9
	35～39 歳	206	0.0	0.0	0.0	2.4	1.0	0.0	3.4	13.1	9.2	9.2	4.9
	40 歳以上	153	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	6.5	11.1	11.8	10.5	2.0

●年齢別にみると、どの年代も「通勤・通学の利便性」が最も多く、特に20～24歳は40%台と、ほかの年代よりも多くなっています。

【転出先の県下地域別 転出先として決め手となった最も大きな理由】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
転出先の県下地域別	神戸地域	190	34.7	3.7	4.2	5.3	1.1	3.2	6.3	6.3	5.3	0.5	0.0
	阪神南地域	76	43.4	3.9	6.6	3.9	0.0	2.6	5.3	3.9	2.6	0.0	0.0
	阪神北地域	27	29.6	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1	7.4	3.7	11.1	0.0
	東播磨地域	308	24.0	2.6	5.2	1.0	0.0	2.3	10.4	13.0	1.0	0.6	0.3
	北播磨地域	47	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	14.9	4.3	2.1	0.0
	中播磨地域	119	31.1	3.4	1.7	0.0	0.8	5.0	9.2	3.4	2.5	0.0	0.0
	西播磨地域	21	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
	但馬地域	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	淡路地域	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中学校などの教育環境が充実している	基盤が整っている	道路や下水道などの都市育ったところだから	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
転出先の県下地域別	神戸地域	190	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	3.7	5.3	10.0	4.2	5.3
	阪神南地域	76	0.0	1.3	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3	11.8	5.3	3.9
	阪神北地域	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	14.8	0.0	7.4	0.0
	東播磨地域	308	0.3	0.0	0.0	10.7	1.0	0.3	2.6	7.8	5.8	6.8	4.2
	北播磨地域	47	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	14.9	8.5	12.8	8.5	2.1
	中播磨地域	119	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	10.1	7.6	13.4	10.1	0.8
	西播磨地域	21	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	19.0	9.5	19.0	9.5	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	41.7	0.0	8.3
	丹波地域	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0

●転出先の県下地域別にみると、北播磨地域は「通勤・通学の利便性」「家賃・住宅の価格」「自分または家族が生まれ育ったところだから」、西播磨地域は「通勤・通学の利便性」「自分または家族が生まれ育ったところだから」「住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)」、但馬地域は「住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)」、ほかの地域は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別 転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	囲気 まちなみや、まちの雰	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	24.0	3.8	2.9	3.8	1.0	2.9	5.8	10.6	3.8	1.9	0.0
	夫婦のみの世帯	63	23.8	4.8	1.6	1.6	0.0	3.2	4.8	19.0	1.6	1.6	0.0
	子どものいる世帯	181	15.5	0.0	3.9	0.6	0.0	2.2	13.3	7.7	1.1	1.1	1.7
	親と同居世帯	772	38.1	2.6	4.4	2.5	0.3	2.1	5.8	7.8	2.7	0.9	0.3
	三世帯世帯	147	40.8	4.8	2.0	1.4	0.0	4.1	9.5	5.4	0.7	0.0	0.0
	その他の世帯	18	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	4.8	8.7	13.5	4.8	3.8
	夫婦のみの世帯	63	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	3.2	11.1	9.5	4.8	1.6
	子どものいる世帯	181	0.6	0.6	0.0	7.2	2.2	0.6	8.3	15.5	6.1	8.8	3.3
	親と同居世帯	772	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	3.2	4.4	13.9	5.1	3.2
	三世帯世帯	147	0.0	0.7	0.0	1.4	0.7	0.0	3.4	4.8	12.9	4.8	2.7
	その他の世帯	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	11.1	16.7

●転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「通勤・通学の利便性」「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。「通勤・通学の利便性」は三世帯世帯のみ40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在の世帯構成別 転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	50.6	3.3	3.6	3.3	0.3	0.5	4.6	7.4	2.5	0.5	0.3
	夫婦のみの世帯	363	33.6	4.1	3.6	2.2	0.0	4.1	6.6	7.7	2.2	1.7	0.6
	子どものいる世帯	391	22.3	0.5	3.3	1.0	0.3	3.3	10.5	10.5	1.5	0.8	0.3
	親と同居世帯	51	9.8	3.9	7.8	0.0	0.0	3.9	7.8	3.9	3.9	0.0	0.0
	三世代世帯	45	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	2.2	2.2
	その他の世帯	40	32.5	5.0	10.0	2.5	2.5	0.0	7.5	10.0	7.5	0.0	0.0
		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	16.8	2.0	3.8
	夫婦のみの世帯	363	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	5.0	5.8	10.2	6.9	4.1
	子どものいる世帯	391	0.3	0.5	0.0	10.0	1.3	0.3	6.1	9.7	6.4	8.4	2.8
	親と同居世帯	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	15.7	25.5	5.9	2.0
	三世代世帯	45	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	13.3	35.6	28.9	2.2	0.0
	その他の世帯	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	12.5	5.0	2.5

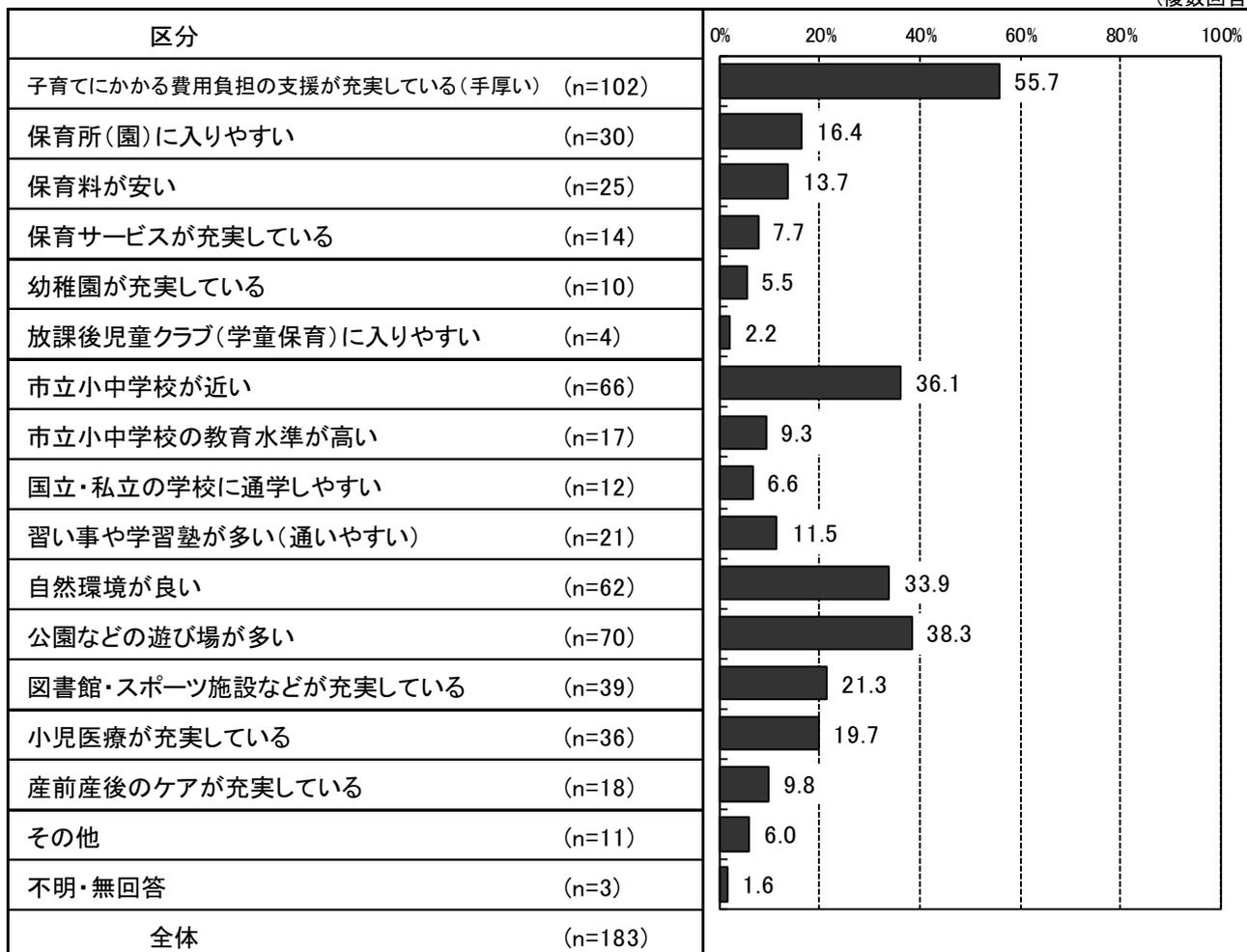
●現在の世帯構成別にみると、親と同居世帯は「住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)」、三世代世帯は「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。また、三世代世帯は「住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)」が28.9%と、親と同居世帯と同様に多くなっています。

問 12 で「15. 子育て環境が充実している」「16. 小中高校などの教育環境が充実している」と答えた方におうかがいします。

問 13 現在お住まいの市区町村の子育て環境や教育環境が良いと思ったのは、どのような点ですか。

【あてはまるものすべてに○】

(複数回答)



●「子育てにかかる費用負担の支援が充実している(手厚い)」が 55.7%で最も多く、次いで「公園などの遊び場が多い」が 38.3%、「市立小中学校が近い」が 36.1%となっています。

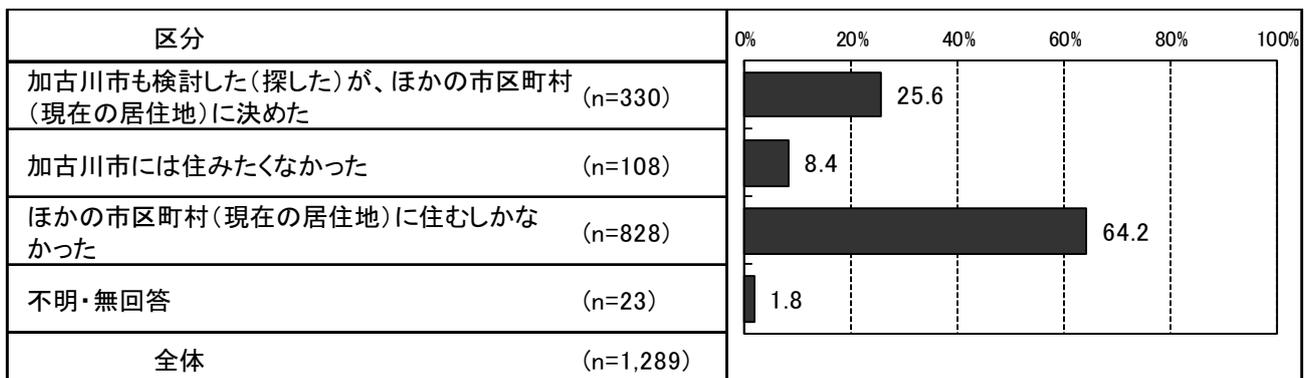
■「保育サービスが充実している」と答えた人の具体的な内容【自由記述】

- 2人目の保育料が無料。
- 保育園の質は加古川市が圧倒的に良いので継続して通わせている。
- 子育て支援センターなどの遊び場が多い。
- 保育園が多く預けやすい。
- 子どもの医療費助成。
- 保育所数が多い。
- 子育て支援に力を入れている。
- 給食費が無料。
- 病児保育が充実している。

■「幼稚園が充実している」と答えた人の具体的な内容【自由記述】

- 徒歩圏内に約4箇所ある。
- 3年保育の実施。
- 預かり保育があることや車で送迎でき、年長になると小学生と登校できる。
- 私立幼稚園が多い。
- 公立なのに3年保育を実施している。
- 私立幼稚園、認定こども園が多い。
- 3歳児から入園できる。

問 14 引越し先を選ぶにあたり、加古川市も検討されましたか。【1つに○】



- 「ほかの市区町村(現在の居住地)に住むしかなかった」が64.2%で最も多く、次いで「加古川市も検討した(探した)が、ほかの市区町村(現在の居住地)に決めた」が25.6%、「加古川市には住みたくなかった」が8.4%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別・転出前の世帯構成別 転出先として加古川市の検討状況】

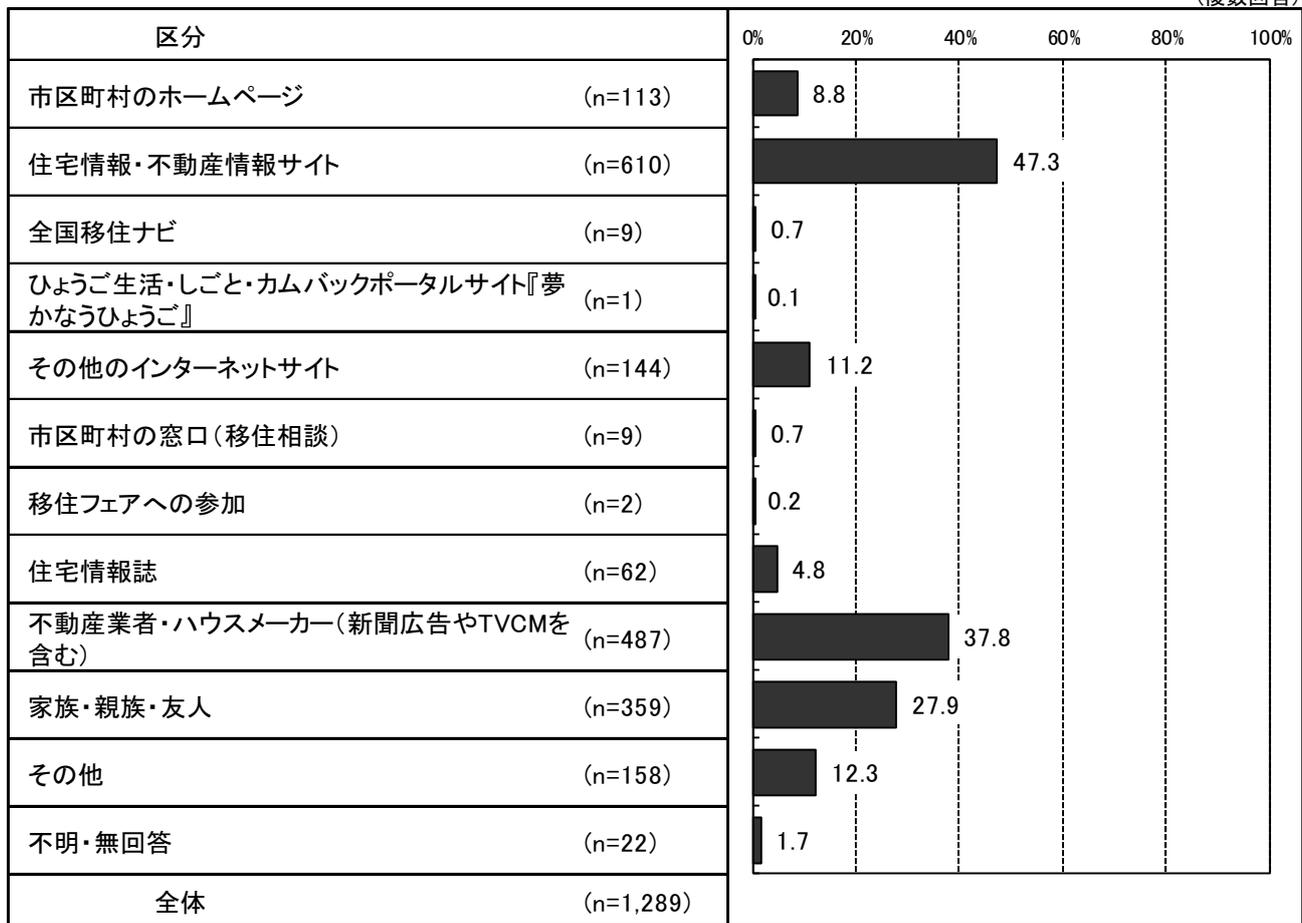
		(n)	加古川市も検討した(探した)が、ほかの市区町村(現在の居住地)に決めた	加古川市には住みたくなかった	ほかの市区町村(現在の居住地)に住むしかなかった	不明・無回答
全体		1,289	25.6	8.4	64.2	1.8
年齢別	20～24 歳	237	9.7	4.6	84.0	1.7
	25～29 歳	348	22.7	9.5	66.4	1.4
	30～34 歳	342	34.8	9.6	54.4	1.2
	35～39 歳	206	29.1	9.2	60.2	1.5
	40 歳以上	153	30.7	7.8	56.9	4.6
転出先の県下地域別	神戸地域	190	21.1	18.9	55.3	4.7
	阪神南地域	76	7.9	10.5	78.9	2.6
	阪神北地域	27	7.4	7.4	85.2	0.0
	東播磨地域	308	60.7	10.1	27.3	1.9
	北播磨地域	47	55.3	2.1	40.4	2.1
	中播磨地域	119	33.6	4.2	61.3	0.8
	西播磨地域	21	19.0	9.5	71.4	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	100.0	0.0
	丹波地域	5	0.0	20.0	80.0	0.0
	淡路地域	7	14.3	0.0	85.7	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	35.6	13.5	51.0	0.0
	夫婦のみの世帯	63	39.7	11.1	47.6	1.6
	子どものいる世帯	181	39.2	13.3	44.8	2.8
	親と同居世帯	772	21.1	6.3	70.6	1.9
	三世帯世帯	147	17.7	8.2	73.5	0.7
	その他の世帯	18	33.3	11.1	50.0	5.6

- 年齢別にみると、どの年代も「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多く、特に20～24歳は80%台と多くなっています。
- 転出先の県下地域別にみると、東播磨地域・北播磨地域は「加古川市も検討した（探した）が、ほかの市区町村（現在の居住地）に決めた」、ほかの地域は「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多くなっています。
- 転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多く、特に親と同居世帯・三世帯世帯は70%台と多くなっています。

問 15 引越し先を探す際、どのような方法（情報源）で調べましたか。

【あてはまるものすべてに○】

(複数回答)



- 「住宅情報・不動産情報サイト」が47.3%で最も多く、次いで「不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告やTVCMを含む)」が37.8%、「家族・親族・友人」が27.9%となっています。

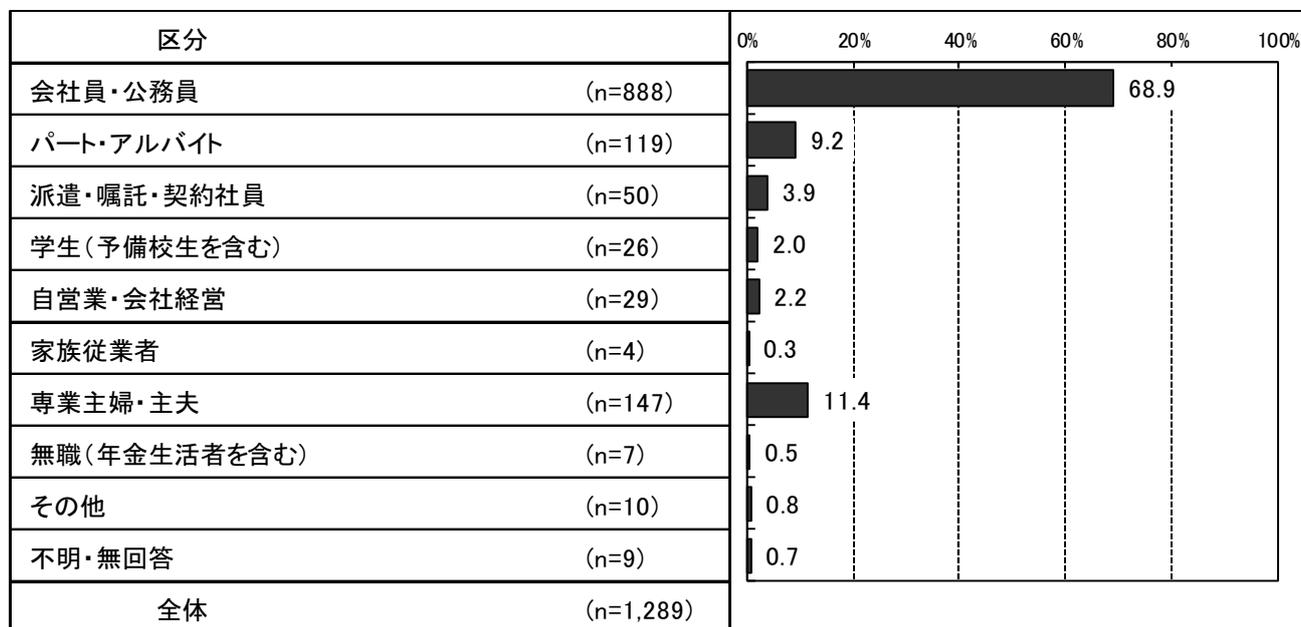
【転出前の世帯構成別 引越し先を調べた情報源】

	(n)	市区町村のホームページ	住宅情報・不動産情報サイト	全国移住ナビ	ひょうご生活・しごとカムバックポータルサイト『夢かなうひょうご』	その他のインターネットサイト	市区町村の窓口(移住相談)	移住フェアへの参加	住宅情報誌	不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告やTVCMを含む)	家族・親族・友人	その他	不明・無回答
全体	1,289	8.8	47.3	0.7	0.1	11.2	0.7	0.2	4.8	37.8	27.9	12.3	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	5.8	54.8	1.0	0.0	11.5	0.0	4.8	42.3	24.0	9.6	0.0
	夫婦のみの世帯	63	7.9	49.2	0.0	0.0	14.3	0.0	4.8	36.5	27.0	15.9	1.6
	子どものいる世帯	181	18.2	33.7	0.0	0.0	11.6	2.2	8.3	43.6	42.0	7.7	2.2
	親と同居世帯	772	6.3	49.9	0.6	0.1	10.0	0.6	3.9	36.0	25.4	13.3	1.8
	三世帯世帯	147	12.9	43.5	1.4	0.0	15.0	0.0	5.4	35.4	25.2	12.2	1.4
	その他の世帯	18	0.0	50.0	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	44.4	38.9	16.7	5.6

●転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「不動産業者・ハウスメーカー（新聞広告やTVCMを含む）」、ほかの世帯は「住宅情報・不動産情報サイト」が最も多くなっています。また、「家族・親族・友人」は子どものいる世帯のみ40%台と多くなっています。

### Ⅲ. 仕事について

問 16 現在のあなたの職業をお答えください。【1つに○】



●「会社員・公務員」が 68.9%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が 11.4%、「パート・アルバイト」が 9.2%となっています。

#### 【性別 就業状況】

	(n)	会社員・公務員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	学生(予備校生を含む)	自営業・会社経営	家族従業者	専業主婦・主夫	無職(年金生活者を含む)	その他	不明・無回答
全体	1,289	68.9	9.2	3.9	2.0	2.2	0.3	11.4	0.5	0.8	0.7
性別	男性	558	89.2	1.6	1.8	3.0	3.2	0.0	0.2	0.4	0.4
	女性	725	53.4	15.0	5.4	1.2	1.5	0.6	20.0	0.8	1.1
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男女ともに「会社員・公務員」が最も多く、女性より男性のほうが 35.8ポイント多くなっています。

## ■通勤・通学先

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
住んでいるところと同じ区・市町村	(n=445)	39.9					
住んでいるところと別の区・市町村	(n=655)	58.7					
不明・無回答	(n=16)	1.4					
全体	(n=1,116)						

- 「住んでいるところと別の区・市町村」が 58.7%、「住んでいるところと同じ区・市町村」が 39.9% となっています。

【年齢別・性別・現在の世帯構成別 通勤・通学先】

		(n)	住んでいるところと同じ区・市町村	住んでいるところと別の区・市町村	不明・無回答
全体		1,116	39.9	58.7	1.4
年齢別	20～24 歳	219	52.1	46.1	1.8
	25～29 歳	303	37.0	61.7	1.3
	30～34 歳	286	34.6	64.7	0.7
	35～39 歳	167	39.5	59.3	1.2
	40 歳以上	139	38.1	59.0	2.9
性別	男性	552	34.1	63.9	2.0
	女性	559	45.8	53.3	0.9
	答えたくない	1	0.0	100.0	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	379	52.2	46.4	1.3
	夫婦のみの世帯	322	32.0	66.5	1.6
	子どものいる世帯	292	36.0	63.0	1.0
	親と同居世帯	43	23.3	74.4	2.3
	三世帯世帯	37	35.1	64.9	0.0
	その他の世帯	38	36.8	57.9	5.3

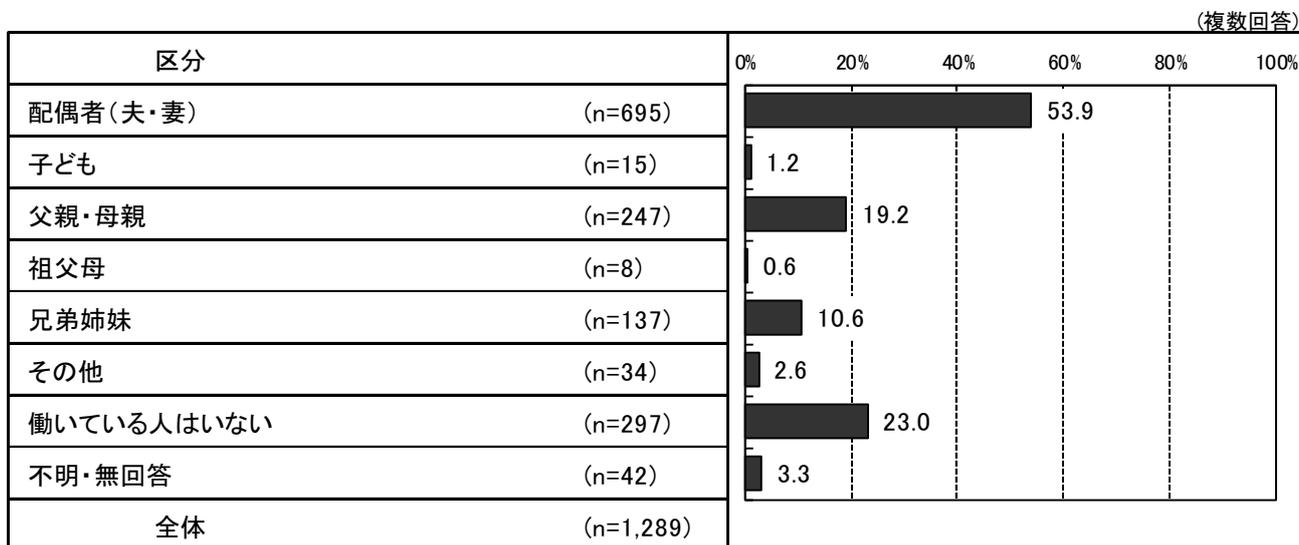
- 年齢別にみると、20～24 歳は「住んでいるところと同じ区・市町村」、ほかの年代は「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっています。
- 性別にみると、男女ともに「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっていますが、女性より男性のほうが 10.6 ポイント多くなっています。
- 現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「住んでいるところと同じ区・市町村」となっています。そのほかの世帯は「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっていますが、親と同居世帯は 70% 台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

問 17 あなたの家庭で働いている方はいますか。【あてはまるものすべてに○】

また、働いている方のうち、住んでいるところと同じ区・市町村で働いている方はいますか。

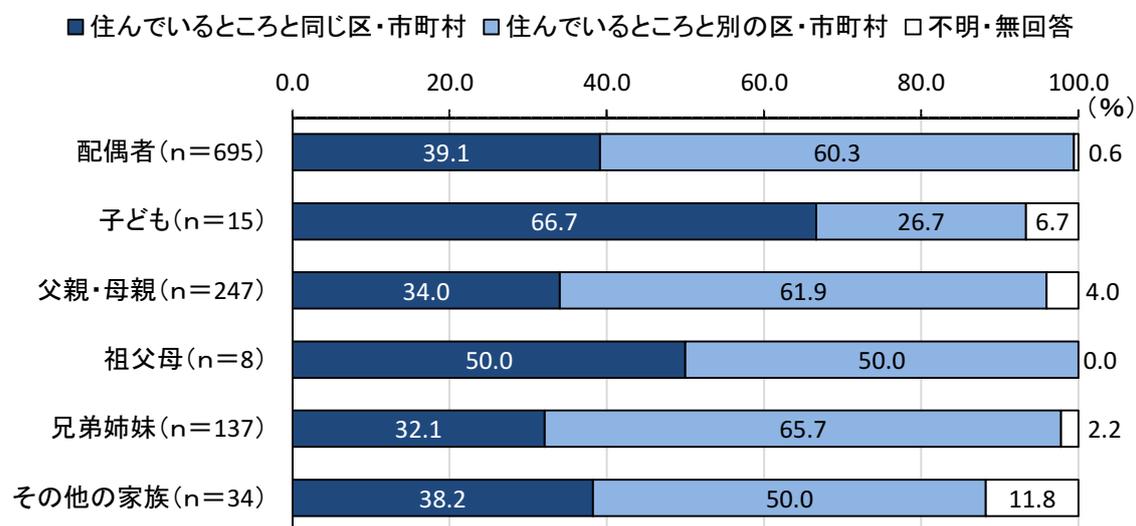
【あてはまるものそれぞれ1つに○】

■ 家族の就労状況



● 「配偶者(夫・妻)」が53.9%で最も多く、次いで「働いている人はいない」が23.0%、「父親・母親」が19.2%となっています。

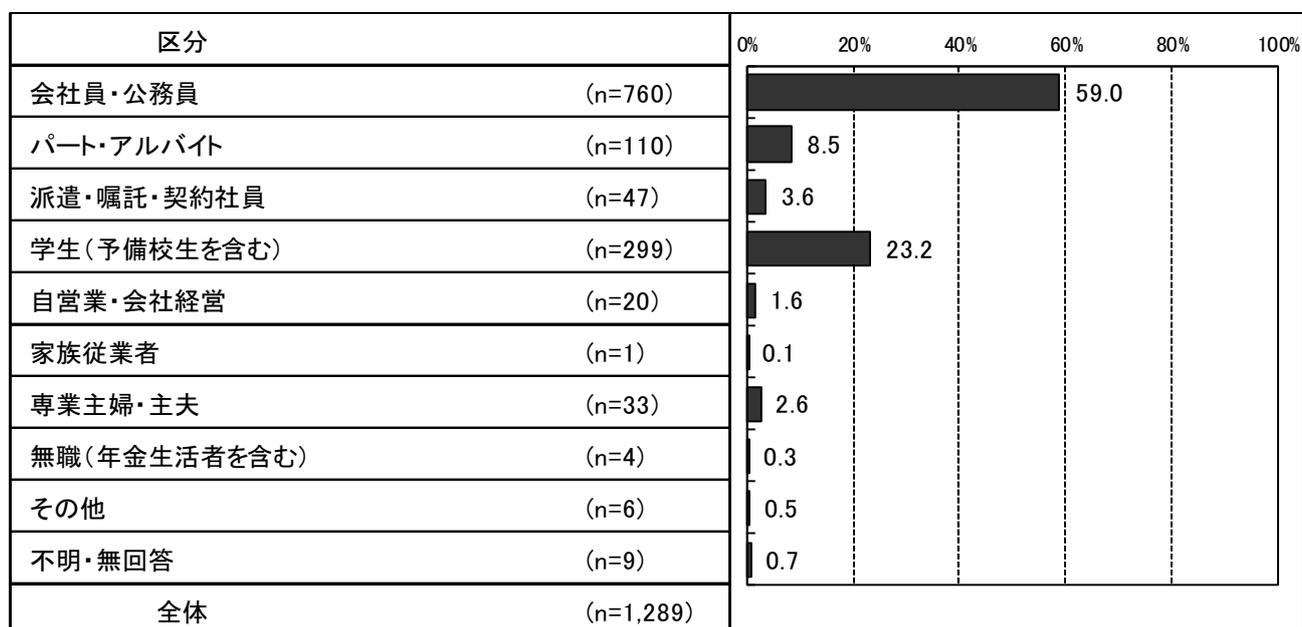
■ 働いている人の就業場所



● 子どもは「住んでいるところと同じ区・市町村」、祖父母は「住んでいるところと同じ区・市町村」、そのほかの人は「住んでいるところと別の区・市町村」がそれぞれ最も多くなっています。

#### IV. 加古川市での生活について

問 18 加古川市に住んでいたときの職業をお答えください。【1つに〇】



- 「会社員・公務員」が 59.0%で最も多く、次いで「学生(予備校生を含む)」が 23.2%、「パート・アルバイト」が 8.5%となっています。

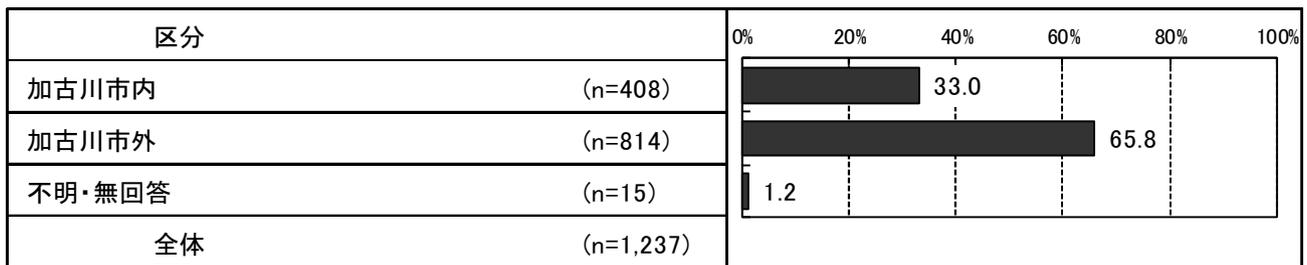
【年齢別・転出前の世帯構成別 加古川市に住んでいたときの職業】

	(n)	会社員・公務員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	学生(予備校生を含む)	自営業・会社経営	家族従業者	専業主婦・主夫	無職(年金生活者を含む)	その他	不明・無回答
全体	1,289	59.0	8.5	3.6	23.2	1.6	0.1	2.6	0.3	0.5	0.7
年齢別	20～24 歳	237	14.3	4.6	0.8	79.3	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0
	25～29 歳	348	62.4	5.5	4.0	25.3	0.9	0.0	1.1	0.3	0.6
	30～34 歳	342	75.4	10.2	3.2	4.7	1.5	0.0	3.2	0.6	0.9
	35～39 歳	206	70.4	11.7	3.9	2.4	3.9	0.5	5.3	1.0	0.5
	40 歳以上	153	68.6	13.1	7.2	1.3	2.6	0.0	4.6	0.7	2.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	92.3	2.9	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	1.0	0.0
	夫婦のみの世帯	63	71.4	12.7	4.8	0.0	1.6	0.0	4.8	0.0	4.8
	子どものいる世帯	181	61.9	14.4	1.1	2.2	3.3	0.6	14.4	0.6	1.7
	親と同居世帯	772	54.4	6.0	4.8	32.4	1.0	0.0	0.5	0.5	0.4
	三世帯世帯	147	49.0	15.6	2.7	27.9	2.0	0.0	2.7	0.0	0.0
	その他の世帯	18	72.2	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「学生（予備校生を含む）」、ほかの年代は「会社員・公務員」が最も多くなっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「会社員・公務員」が最も多く、特にひとり暮らし世帯は 90% 台と多くなっています。「学生（予備校生を含む）」は親と同居世帯・三世帯世帯がほかの世帯より多くなっています。

■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先【1つに○】



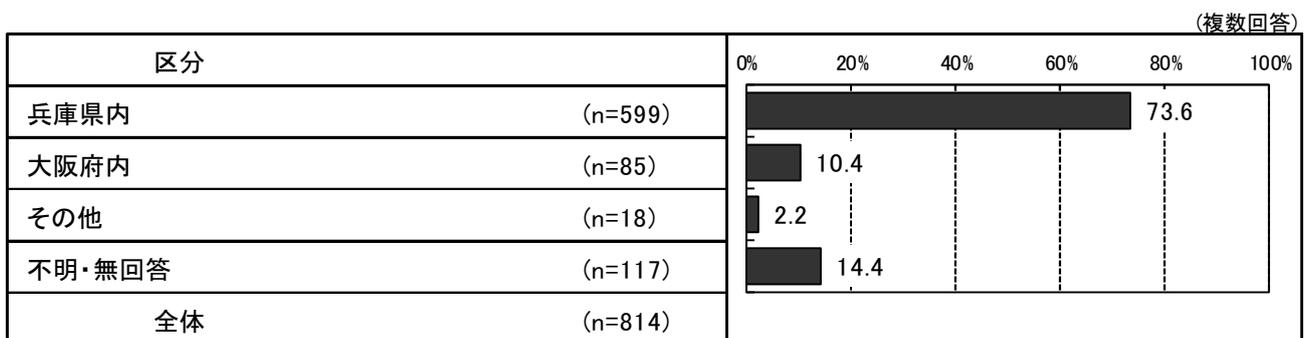
●「加古川市外」が65.8%、「加古川市内」が33.0%となっています。

【年齢別・転出前の世帯構成別 加古川市に住んでいたときの通勤・通学先】

		(n)	加古川市 内	加古川市 外	不明・無 回答
全体		1,237	33.0	65.8	1.2
年齢別	20～24歳	235	25.1	73.2	1.7
	25～29歳	341	34.3	64.5	1.2
	30～34歳	325	36.9	62.2	0.9
	35～39歳	191	35.1	64.4	0.5
	40歳以上	142	31.0	66.9	2.1
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	103	47.6	52.4	0.0
	夫婦のみの世帯	57	43.9	54.4	1.8
	子どものいる世帯	151	44.4	54.3	1.3
	親と同居世帯	761	28.3	70.4	1.3
	三世帯世帯	143	32.2	66.4	1.4
	その他の世帯	18	27.8	72.2	0.0

- 年齢別にみると、どの年代も「加古川市外」が最も多く、20～24歳のみ70%台となっています。
- 転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「加古川市外」が最も多く、親と同居世帯・その他の世帯は70%台と、ほかの世帯より多くなっています。

■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先の都道府県



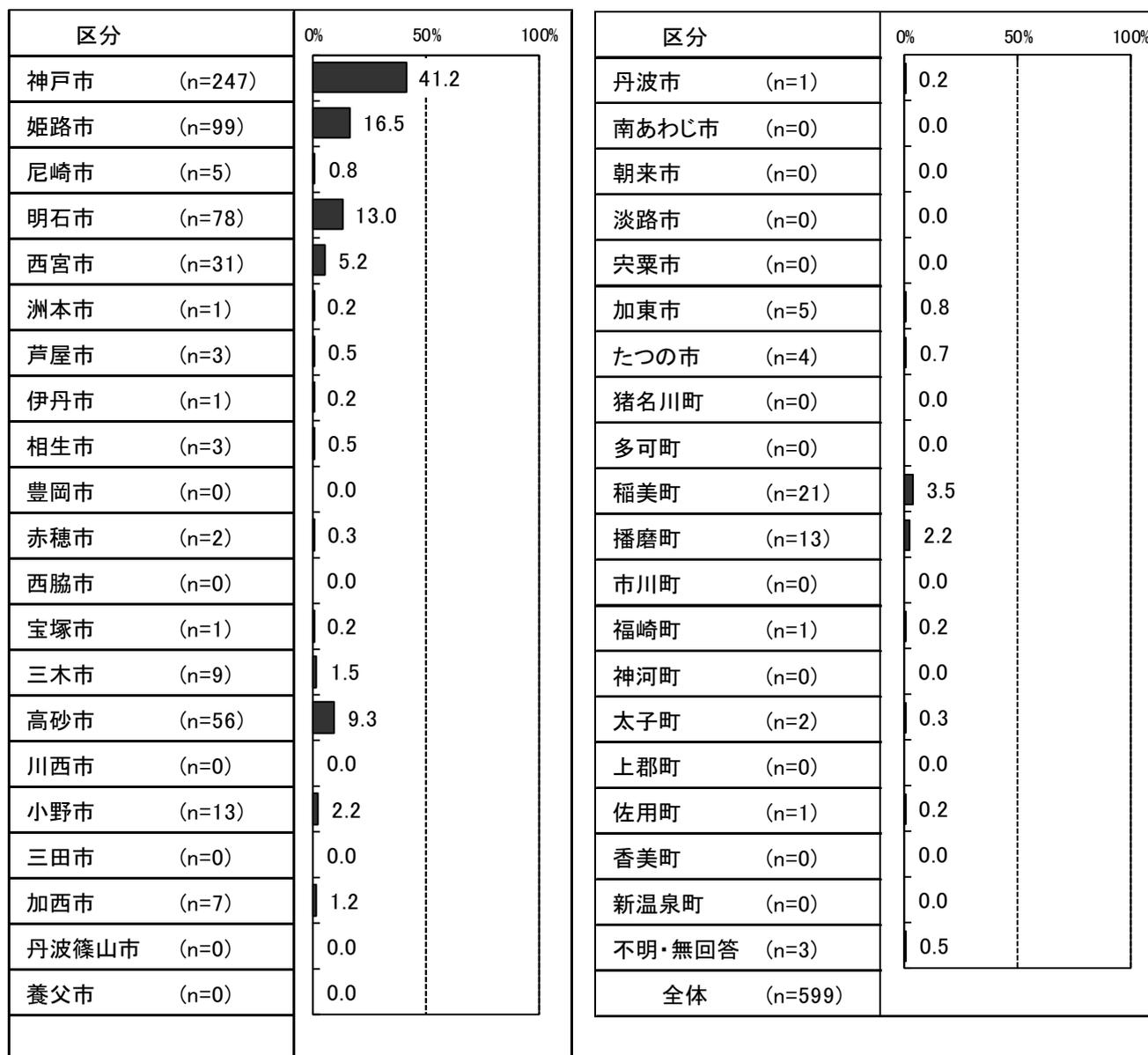
●「兵庫県内」が73.6%で最も多く、次いで「大阪府内」が10.4%、「その他」が2.2%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別・転出前の世帯構成別 加古川市に生きていたときの通勤・通学先】

		(n)	兵庫県内	大阪府内	その他	不明・無回答
全体		814	73.6	10.4	2.2	14.4
年齢別	20～24 歳	172	65.1	13.4	7.0	15.1
	25～29 歳	220	70.9	15.0	2.7	11.8
	30～34 歳	202	80.7	5.4	0.0	14.4
	35～39 歳	123	76.4	12.2	0.0	13.0
	40 歳以上	95	75.8	3.2	0.0	21.1
転出先の県下地域別	神戸地域	126	81.0	6.3	0.8	11.9
	阪神南地域	54	70.4	16.7	0.0	13.0
	阪神北地域	23	69.6	17.4	4.3	8.7
	東播磨地域	178	75.3	3.4	1.7	20.2
	北播磨地域	28	82.1	7.1	0.0	10.7
	中播磨地域	73	90.4	2.7	0.0	6.8
	西播磨地域	18	72.2	5.6	5.6	16.7
	但馬地域	7	85.7	0.0	0.0	14.3
	丹波地域	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	4	75.0	25.0	0.0	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	54	85.2	1.9	0.0	13.0
	夫婦のみの世帯	31	80.6	0.0	0.0	19.4
	子どものいる世帯	82	78.0	2.4	0.0	19.5
	親と同居世帯	536	70.1	13.6	3.2	13.6
	三世帯世帯	95	77.9	9.5	0.0	14.7
	その他の世帯	13	84.6	0.0	7.7	7.7

- 年齢別にみると、どの年代も「兵庫県内」が最も多くなっていますが、20～24 歳のみ 60%台と低くなっています。
- 転出先の県下地域別にみると、転出先の地域に関わらず「兵庫県内」が最も多くなっています。転出先が阪神南地域・阪神北地域の方は「大阪府内」が 10%台と、ほかの地域より多くなっています。
- 転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「兵庫県内」が最も多くなっています。「大阪府内」は親と同居世帯のみ 10%台となっています。

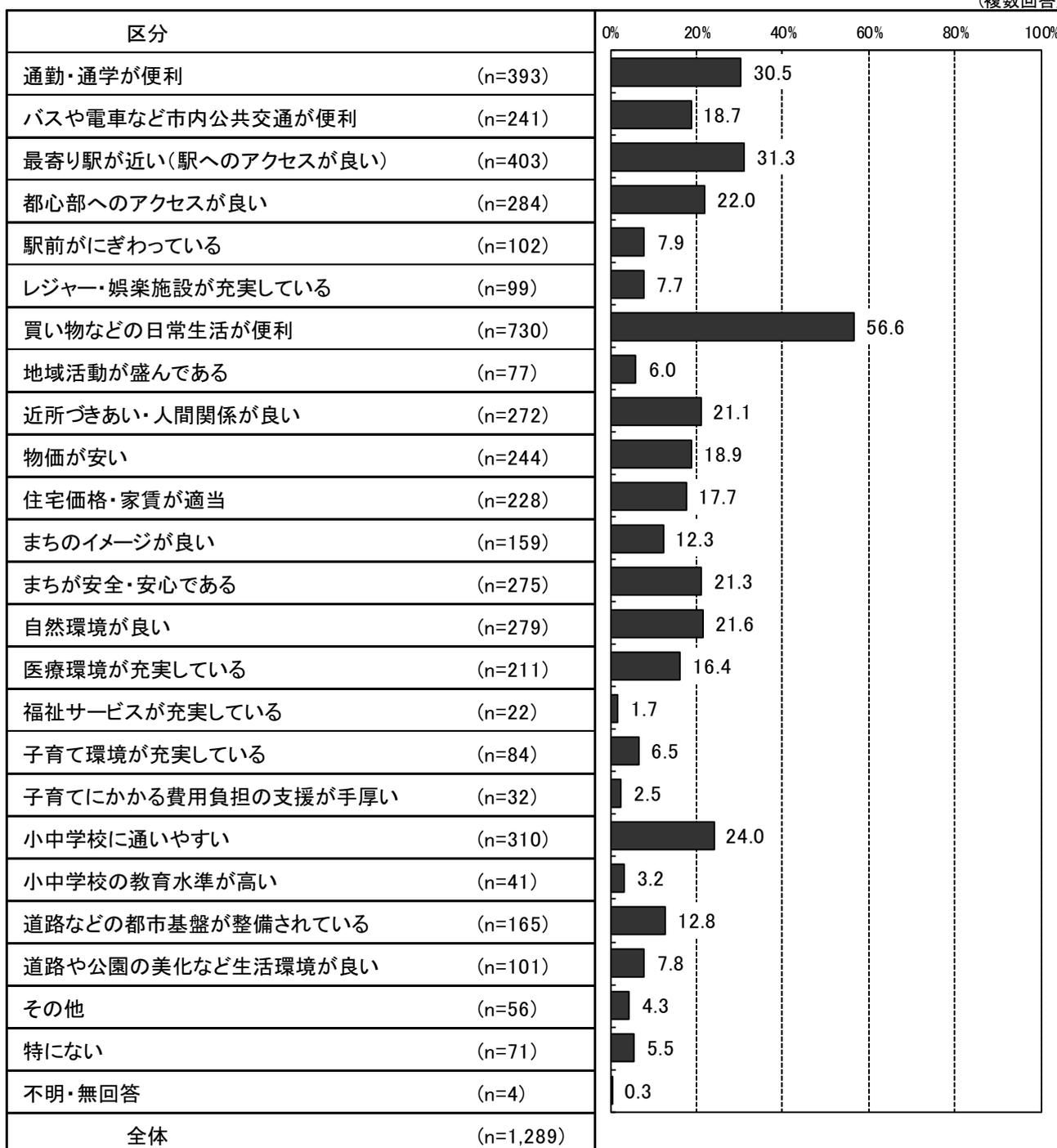
■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先の兵庫県の市町



●「神戸市」が41.2%で最も多く、次いで「姫路市」が16.5%、「明石市」が13.0%となっています。

問 19 加古川市に住んでいて良かった点はどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

(複数回答)



- 「買い物などの日常生活が便利」が 56.6%で最も多く、次いで「最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）」が 31.3%、「通勤・通学が便利」が 30.5%となっています。

【年齢別 加古川市に住んでいてよかった点】

	(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	買物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	当住宅価格・家賃が適	ま	ま
全体	1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3	
年齢別	20～24 歳	237	33.3	22.4	34.6	29.1	12.7	8.9	54.0	8.0	24.1	21.9	11.4	21.5	25.3
	25～29 歳	348	30.5	19.0	31.6	21.6	8.3	7.5	54.0	7.5	23.9	19.3	17.0	14.1	25.6
	30～34 歳	342	30.7	15.8	26.3	19.9	7.6	6.1	55.8	4.4	16.7	16.4	19.9	8.8	17.8
	35～39 歳	206	27.2	18.4	33.5	21.4	3.4	9.2	65.0	2.9	18.9	16.5	17.0	8.3	18.0
	40 歳以上	153	30.1	19.6	33.3	18.3	6.5	7.2	57.5	6.5	22.9	22.2	24.2	7.8	18.3
	(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にな	不明・無回答		
全体	1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3		
年齢別	20～24 歳	237	19.4	14.8	2.5	5.5	0.4	37.1	3.8	14.8	8.0	3.4	5.5	0.0	
	25～29 歳	348	25.6	11.5	1.7	6.3	1.4	30.7	2.3	11.2	9.5	3.4	4.6	0.3	
	30～34 歳	342	17.3	14.9	0.3	4.7	1.2	16.7	3.2	13.2	7.0	5.3	7.3	0.6	
	35～39 歳	206	24.3	25.7	2.9	9.2	6.8	13.6	1.9	13.1	7.8	4.9	2.9	0.5	
	40 歳以上	153	22.2	20.3	2.0	9.2	4.6	19.6	5.9	12.4	5.2	5.2	7.2	0.0	

- 年齢別にみると、どの年代も「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、35～39 歳は 60%を超えています。
- 「小中学校に通いやすい」は、20～29 歳の年代で 30%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別 加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	生活が便利	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	当	住宅価格・家賃が適い	まちなイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3		
性別	男性	558	34.6	19.4	31.4	21.9	8.4	9.7	50.5	6.3	18.8	16.3	20.4	12.4	18.6		
	女性	725	27.3	18.3	31.3	22.2	7.6	6.1	61.5	5.7	22.9	20.8	15.3	12.4	23.6		
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答			
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3			
性別	男性	558	20.3	16.3	2.0	5.9	2.7	22.6	3.4	14.0	7.0	4.8	5.9	0.2			
	女性	725	22.8	16.3	1.5	7.0	2.2	25.2	3.0	12.0	8.3	4.0	5.2	0.4			
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

●性別にみると、男女ともに「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、男性より女性のほうが11.0ポイント多くなっています。

【転出先の県下地域別 加古川市に住んでいてよかった点】 ※n数が10件以下は分析の対象外

	(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	良い	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	充実している	レジャー・娯楽施設が	活が便利	買い物などの日常生活	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	当	住宅価格・家賃が適	い	まちのイメージが良	る	まちが安全・安心である
全体	1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3						
転出先の県下地域別	神戸地域	190	25.3	10.5	26.8	15.3	6.3	7.4	49.5	6.8	16.8	26.8	21.1	10.0	24.2					
	阪神南地域	76	23.7	17.1	32.9	11.8	10.5	3.9	51.3	11.8	25.0	25.0	17.1	9.2	21.1					
	阪神北地域	27	25.9	7.4	25.9	11.1	3.7	11.1	81.5	3.7	11.1	25.9	11.1	14.8	14.8					
	東播磨地域	308	29.5	18.8	29.2	13.6	9.7	8.1	58.1	3.9	15.6	11.0	16.9	5.8	10.4					
	北播磨地域	47	40.4	42.6	48.9	34.0	12.8	12.8	72.3	4.3	10.6	10.6	4.3	10.6	8.5					
	中播磨地域	119	40.3	21.8	34.5	21.8	6.7	5.9	52.9	2.5	21.0	10.1	10.9	18.5	27.7					
	西播磨地域	21	42.9	19.0	52.4	19.0	9.5	19.0	76.2	0.0	19.0	0.0	4.8	9.5	14.3					
	但馬地域	12	58.3	41.7	50.0	66.7	25.0	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7					
	丹波地域	5	40.0	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0					
	淡路地域	7	42.9	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6					
	(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美観など生活環境が良い	その他	特にな	不明・無回答							
全体	1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3							
転出先の県下地域別	神戸地域	190	23.2	18.4	1.1	6.8	3.7	22.1	3.2	7.4	4.7	6.3	4.2	0.0						
	阪神南地域	76	27.6	10.5	2.6	5.3	1.3	30.3	2.6	11.8	10.5	6.6	2.6	0.0						
	阪神北地域	27	18.5	11.1	0.0	3.7	0.0	22.2	7.4	11.1	3.7	7.4	7.4	0.0						
	東播磨地域	308	14.3	13.6	0.3	2.9	0.6	14.0	2.9	7.8	5.2	4.2	8.4	0.0						
	北播磨地域	47	6.4	21.3	2.1	6.4	4.3	17.0	4.3	19.1	10.6	6.4	4.3	2.1						
	中播磨地域	119	22.7	15.1	1.7	9.2	1.7	24.4	2.5	12.6	10.9	4.2	6.7	0.0						
	西播磨地域	21	0.0	47.6	4.8	0.0	0.0	19.0	0.0	23.8	9.5	0.0	4.8	4.8						
	但馬地域	12	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	丹波地域	5	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	淡路地域	7	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0						

●転出先の県下地域別にみると、転出先に関わらず「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、特に阪神北地域・但馬地域の方は80%台と多くなっています。

【転出前の世帯構成別 加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	生活が便利	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちなイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3	
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	38.5	13.5	34.6	15.4	14.4	6.7	51.9	2.9	6.7	15.4	27.9	8.7	13.5	
	夫婦のみの世帯	63	33.3	20.6	23.8	17.5	4.8	6.3	57.1	3.2	15.9	17.5	28.6	7.9	12.7	
	子どものいる世帯	181	30.9	26.0	39.8	22.1	8.3	11.0	69.1	4.4	18.2	11.6	21.0	4.4	9.9	
	親と同居世帯	772	28.9	17.7	30.1	24.0	7.9	7.1	56.3	6.9	23.2	20.7	15.2	14.9	24.6	
	三世帯世帯	147	32.0	17.7	29.3	20.4	4.1	6.8	46.3	6.1	27.2	21.1	15.6	14.3	27.2	
	その他の世帯	18	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	5.6	55.6	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	27.8	
		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特になし	不明・無回答		
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3		
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	16.3	8.7	0.0	0.0	0.0	2.9	1.0	13.5	6.7	3.8	3.8	0.0		
	夫婦のみの世帯	63	9.5	15.9	3.2	4.8	3.2	7.9	0.0	9.5	4.8	3.2	9.5	1.6		
	子どものいる世帯	181	10.5	27.1	3.3	16.6	10.5	21.5	7.2	12.7	8.3	3.9	3.9	0.6		
	親と同居世帯	772	24.0	14.8	1.6	5.7	0.9	29.4	2.2	12.8	7.9	5.3	5.8	0.3		
	三世帯世帯	147	32.7	15.6	1.4	4.8	2.0	21.8	6.8	15.6	8.8	1.4	4.1	0.0		
	その他の世帯	18	16.7	27.8	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	0.0		

- 転出前の世帯構成別にみると、どの年代も「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、特に子どものいる世帯は60%台と多くなっていますが、三世帯世帯は50%を下回っています。
- 「自然環境が良い」は、三世帯世帯のみ30%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【今後の居留意向別 加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	良 都心部へのアクセスが	駅前がにぎわっている	充実している レジャー・娯楽施設が	活 買物などの日常生活が便利	る 地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	当 住宅価格・家賃が適	い まちのイメージが良	る まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
居留意向	住みたい	511	38.4	21.5	32.9	26.6	8.6	10.6	63.8	5.7	27.6	21.5	18.4	18.2	30.1
	住みたいが、住むことができない	475	29.9	22.5	33.9	24.4	9.1	7.6	58.5	8.0	20.2	18.3	18.3	12.0	20.8
	住みたくない	278	18.0	7.6	24.5	11.2	5.4	2.9	41.7	2.9	11.9	15.5	16.2	2.9	7.2
		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答	
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3	
居留意向	住みたい	511	25.6	18.4	2.0	6.3	1.4	30.5	3.5	15.9	9.2	4.5	2.3	0.4	
	住みたいが、住むことができない	475	21.3	18.1	1.9	8.4	3.6	24.4	4.0	14.5	9.1	4.6	3.6	0.2	
	住みたくない	278	15.8	11.2	1.1	4.0	2.2	11.9	1.4	4.7	4.0	4.0	14.0	0.0	

- 今後の居留意向別にみると、今後の居留意向に関わらず「買物などの日常生活が便利」が最も多くなっていますが、住みたくない人は40%台と、ほかの人より低くなっています。
- 住みたくない人は「子育てにかかる費用負担の支援が手厚い」を除き、すべての項目で住みたい人や住みたいが住むことができない人より回答が低く、「特にない」が10ポイント以上多くなっています。
- 「通勤・通学が便利」「買物などの日常生活が便利」「まちが安全・安心である」は住みたい人より住みたくない人のほうが20ポイント以上低くなっています。

問 20 現在のお住まい（転出先）と比較して、加古川市が住みにくいと思う点はどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

(複数回答)



● 「バスや電車など市内公共交通が不便」が26.9%で最も多く、次いで「駅前のにぎわいが足りない」が25.5%、「通勤・通学が不便」と「最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)」と「都心部から離れている」が、ともに24.0%となっています。

【年齢別 加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	生活が不便	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちなイメージが良くない	まちな治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6	
年齢別	20～24歳	237	25.7	23.2	22.4	26.2	21.5	25.3	6.3	0.4	3.4	2.5	2.1	10.5	24.9	
	25～29歳	348	25.6	28.2	24.7	25.9	26.7	24.1	9.2	2.3	4.6	1.4	6.9	17.0	22.4	
	30～34歳	342	21.1	27.5	24.0	22.5	29.8	21.1	9.1	1.5	4.4	2.0	4.7	16.1	25.4	
	35～39歳	206	26.2	27.2	25.7	22.3	26.7	19.4	8.3	1.0	3.9	5.3	5.3	11.7	18.9	
	40歳以上	153	21.6	27.5	22.2	22.2	18.3	17.0	12.4	5.9	7.8	3.3	5.2	14.4	18.3	
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	低い	小中学校の教育水準が低い	整備が不十分	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特になし	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2		
年齢別	20～24歳	237	3.8	3.8	3.4	6.8	3.0	2.1	3.8	3.8	3.4	3.0	21.1	1.3		
	25～29歳	348	5.2	4.6	4.6	10.3	11.5	6.0	5.7	6.6	4.6	2.3	17.0	0.6		
	30～34歳	342	5.3	2.9	3.8	14.0	13.7	4.7	2.9	5.8	5.0	4.4	13.5	1.2		
	35～39歳	206	4.9	4.9	2.9	7.8	11.2	3.9	5.3	8.7	5.8	7.3	16.0	0.5		
	40歳以上	153	9.2	3.3	2.6	7.8	12.4	5.9	2.0	11.8	8.5	3.3	19.0	3.3		

●年齢別にみると、20～24歳は「都心部から離れている」、30～34歳は「駅前のにぎわいが足りない」、そのほかの年代は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【性別 加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	生活が不便	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	ついでに 住宅価格・家賃が合	まちなイメージが良くない	まちな治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6	
性別	男性	558	22.8	24.0	22.2	24.9	28.1	20.8	8.1	2.0	4.1	2.7	5.6	16.1	22.6	
	女性	725	25.0	28.8	25.4	23.3	23.6	22.8	9.4	1.9	4.7	2.6	4.6	13.0	22.5	
	答えたくない	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にな	不明・無回答		
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2		
性別	男性	558	5.7	4.1	3.0	11.6	11.5	5.7	4.3	9.9	6.3	3.9	16.8	1.3		
	女性	725	5.1	3.7	4.0	8.6	9.8	3.6	4.0	4.6	4.3	3.9	17.0	1.1		
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

●性別にみると、男性は「駅前のにぎわいが足りない」、女性は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【転出先の県下地域別 加古川市が住みにくいと思う点】 ※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	少ない レジャー・娯楽施設が	活が不便	買い物などの日常生活	地域活動が多過ぎる	係が良くない	近所づきあい・人間関係が高い	物価が高い	特にな	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6			
転出先の県下地域別	神戸地域	190	33.2	39.5	29.5	37.4	32.1	23.7	15.3	3.7	2.6	2.1	3.7	22.1	20.5			
	阪神南地域	76	35.5	30.3	27.6	42.1	31.6	32.9	5.3	1.3	5.3	0.0	1.3	21.1	19.7			
	阪神北地域	27	40.7	29.6	33.3	44.4	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	33.3			
	東播磨地域	308	21.4	22.7	18.8	14.6	16.9	12.0	7.1	2.6	4.9	3.2	8.8	11.7	23.1			
	北播磨地域	47	6.4	6.4	6.4	6.4	4.3	14.9	4.3	0.0	12.8	6.4	17.0	21.3	48.9			
	中播磨地域	119	16.0	22.7	18.5	8.4	38.7	30.3	12.6	4.2	5.9	0.0	3.4	5.9	14.3			
	西播磨地域	21	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	28.6	33.3			
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	41.7			
	丹波地域	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0			
	淡路地域	7	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	57.1			
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	が低い	小中学校の教育水準	整備が不十分	道路などの都市基盤の	生活環境が良くない	道路や公園の美化など	その他	特にな	不明・無回答	
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2				
転出先の県下地域別	神戸地域	190	5.3	4.7	3.2	8.4	4.2	3.7	4.7	12.1	4.7	3.7	11.6	1.1				
	阪神南地域	76	3.9	2.6	3.9	5.3	5.3	3.9	3.9	6.6	7.9	1.3	10.5	1.3				
	阪神北地域	27	7.4	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	11.1	0.0	3.7	0.0	11.1	0.0				
	東播磨地域	308	4.9	4.5	4.2	23.4	27.3	6.8	4.5	7.1	7.1	5.2	16.9	1.9				
	北播磨地域	47	27.7	4.3	4.3	10.6	12.8	4.3	6.4	4.3	6.4	8.5	17.0	0.0				
	中播磨地域	119	2.5	2.5	1.7	5.9	6.7	3.4	3.4	5.0	2.5	3.4	25.2	0.8				
	西播磨地域	21	33.3	4.8	4.8	0.0	14.3	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8	19.0	0.0				
	但馬地域	12	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	41.7	0.0				
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0				
	淡路地域	7	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0				

●転出先の県下地域別に、それぞれ最も多い項目は以下の通りです。

- 神戸地域：バスや電車など市内公共交通が不便
- 阪神南地域・阪神北地域：都心部から離れている
- 東播磨地域：子育てにかかる費用負担の支援が少ない
- 北播磨地域：まちの治安が良くない
- 中播磨地域：駅前のにぎわいが足りない
- 西播磨地域：まちの治安が良くない、自然環境が良くない
- 但馬地域：まちの治安が良くない、特にな

【転出前の世帯構成別 加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	駅前のにぎわいが足りない	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	生活が不便	買い物などの日常	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	ついでに	住宅価格・家賃が合わない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6			
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	17.3	23.1	15.4	19.2	30.8	20.2	9.6	1.9	2.9	1.9	4.8	16.3	26.0			
	夫婦のみの世帯	63	15.9	30.2	25.4	20.6	22.2	22.2	9.5	1.6	4.8	7.9	11.1	14.3	27.0			
	子どものいる世帯	181	14.9	14.9	17.1	15.5	19.3	16.0	4.4	2.8	7.7	7.2	10.5	17.7	27.1			
	親と同居世帯	772	26.6	28.5	24.9	26.7	26.6	23.1	8.2	1.7	3.5	1.7	3.9	13.1	21.8			
	三世帯世帯	147	29.3	34.0	33.3	25.9	27.2	25.9	16.3	2.7	6.8	0.0	1.4	14.3	17.0			
	その他の世帯	18	33.3	27.8	22.2	16.7	16.7	11.1	16.7	0.0	11.1	5.6	5.6	27.8	27.8			
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	小中学校の教育水準	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特になし	不明・無回答			
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2				
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	7.7	3.8	3.8	7.7	8.7	2.9	1.9	8.7	3.8	8.7	13.5	1.9				
	夫婦のみの世帯	63	12.7	11.1	6.3	17.5	19.0	4.8	1.6	6.3	7.9	6.3	9.5	0.0				
	子どものいる世帯	181	9.9	3.9	2.2	17.1	23.8	7.7	6.1	8.8	7.2	3.9	16.0	0.0				
	親と同居世帯	772	3.2	3.1	3.6	8.2	7.0	3.2	3.6	6.2	4.4	2.8	17.6	1.4				
	三世帯世帯	147	4.1	4.8	4.8	8.8	11.6	8.8	6.1	6.1	5.4	4.8	17.7	1.4				
	その他の世帯	18	22.2	5.6	0.0	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	33.3	0.0				

●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「駅前のにぎわいが足りない」、子どものいる世帯は「まちの治安が良くない」、ほかの世帯は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【転出前の居住地区別 加古川市が住みにくいと思う点】

	(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	生活が不便	買い物などの日常	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちなイメージが良くない	まちな治安が良くない		
全体	1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6			
転出前の居住地区別	加古川	309	17.5	23.9	16.8	23.9	27.2	23.3	6.1	1.0	2.6	3.6	5.8	12.6	21.0		
	加古川北	67	32.8	43.3	41.8	32.8	19.4	26.9	20.9	1.5	4.5	0.0	1.5	4.5	13.4		
	野口	155	20.0	22.6	25.2	21.3	31.0	24.5	5.2	1.9	5.2	3.9	2.6	11.0	27.7		
	平岡	327	27.5	24.8	17.7	21.4	23.2	18.7	6.7	1.2	5.5	2.8	4.9	20.5	25.4		
	浜の宮	216	17.1	20.4	19.0	25.0	19.9	16.7	5.1	3.7	6.9	2.8	7.9	17.1	25.9		
	両荘	37	62.2	62.2	59.5	32.4	27.0	24.3	35.1	13.5	8.1	0.0	2.7	13.5	18.9		
	加古川西	121	22.3	23.1	27.3	17.4	27.3	22.3	9.9	0.8	1.7	0.8	4.1	9.9	18.2		
	志方	45	55.6	66.7	75.6	44.4	44.4	40.0	33.3	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	4.4		
	(n)	自然環境が良くない	ない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	担の支援が少ない	子育てにかかる費用負担	小中学校に通いにくい	低い	小中学校の教育水準が	整備が不十分	道路などの都市基盤の生活環境が良くない	道路や公園の美化など	その他	特になし	不明・無回答
全体	1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2				
転出前の居住地区別	加古川	309	4.2	3.2	3.9	9.1	9.4	2.9	3.9	5.5	5.2	5.2	19.7	1.3			
	加古川北	67	1.5	6.0	4.5	10.4	9.0	10.4	1.5	10.4	1.5	3.0	16.4	1.5			
	野口	155	4.5	1.9	0.6	9.0	9.7	1.3	2.6	5.8	5.8	5.8	14.2	1.3			
	平岡	327	7.3	3.7	4.3	11.0	12.5	4.3	5.2	10.1	6.1	3.4	15.3	0.9			
	浜の宮	216	8.3	4.6	3.7	11.6	12.0	5.1	4.6	4.2	6.9	3.2	16.7	1.4			
	両荘	37	2.7	8.1	5.4	13.5	8.1	21.6	2.7	10.8	5.4	0.0	2.7	0.0			
	加古川西	121	3.3	3.3	2.5	7.4	7.4	4.1	3.3	2.5	0.0	3.3	24.8	1.7			
	志方	45	0.0	6.7	6.7	8.9	15.6	6.7	4.4	11.1	4.4	2.2	6.7	0.0			

●転出前の居住地区別に、それぞれ最も多い項目は以下の通りです。

加古川・野口：駅前のにぎわいが足りない

加古川北：バスや電車など市内公共交通が不便

平岡：通勤・通学が不便

浜の宮：まちな治安が良くない

両荘：通勤・通学が不便、バスや電車など市内公共交通が不便

加古川西：最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）、駅前のにぎわいが足りない

志方：最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）

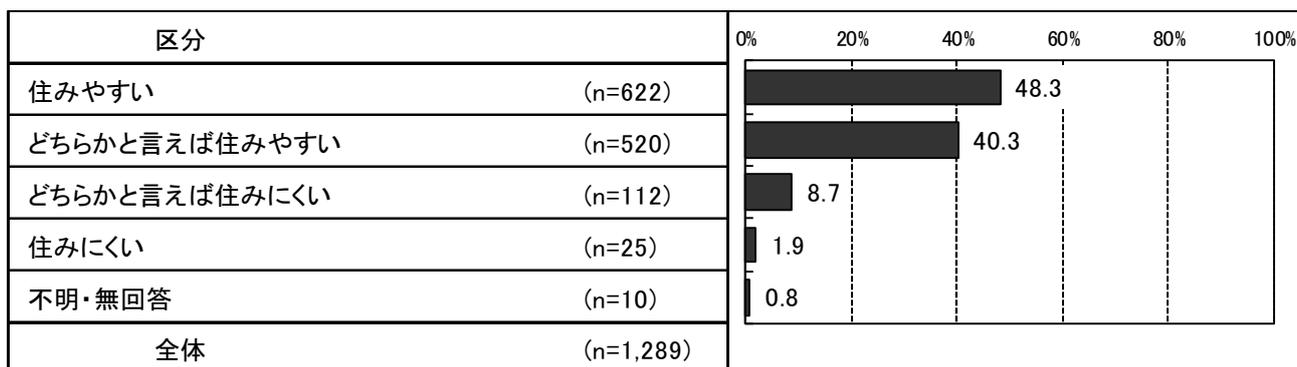
【今後の居留意向別 加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い(駅へのアクセスが悪い)	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	生活が不便	買い物などの日常	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6	
居留意向	住みたい	511	19.6	25.0	20.4	21.5	22.3	22.1	6.3	1.6	2.9	2.5	4.7	9.8	18.4	
	住みたいが、住むことができない	475	22.3	23.6	22.7	22.5	27.2	20.4	8.2	1.3	3.4	2.3	2.9	12.2	18.3	
	住みたくない	278	35.3	36.7	33.8	30.9	29.9	24.8	15.8	4.0	10.1	3.2	8.6	26.6	37.8	
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	が低い	小中学校の教育水準	整備が不十分	道路などの都市基盤の	生活環境が良くない	その他	特になし	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2		
居留意向	住みたい	511	3.3	3.9	3.7	10.0	10.6	3.1	3.1	5.9	4.5	4.5	20.9	1.2		
	住みたいが、住むことができない	475	5.3	3.2	2.9	6.7	9.1	4.0	2.5	5.9	3.2	2.9	17.7	0.4		
	住みたくない	278	9.0	5.0	4.7	15.8	14.0	7.9	8.6	10.1	9.4	4.0	8.6	0.0		

- 今後の居留意向別にみると、住みたい人は「バスや電車など市内公共交通が不便」、住みたいが住むことができない人は「駅前にぎわいが足りない」、住みたくない人は「まちの治安が良くない」が最も多くなっています。
- 住みたくない人はすべての項目で住みたい人や住みたいが住むことができない人より回答が多くなっています。

問 21 加古川市の住みよさ、住みにくさの両方を踏まえ、加古川市は住みやすかったと思いますか。

【1つに〇】



- 「住みやすい」が48.3%で最も多く、次いで「どちらかと言えば住みやすい」が40.3%、「どちらかと言えば住みにくい」が8.7%となっています。

【年齢別・転出前の居住地区別 加古川市の住みやすさ】

		(n)	住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	住みにくい	不明・無回答
全体		1,289	48.3	40.3	8.7	1.9	0.8
年齢別	20～24歳	237	59.5	32.9	5.5	0.8	1.3
	25～29歳	348	51.7	36.2	10.1	1.4	0.6
	30～34歳	342	40.4	50.0	7.9	1.5	0.3
	35～39歳	206	50.0	36.9	9.2	3.4	0.5
	40歳以上	153	38.6	43.8	11.8	3.9	2.0
転出前の居住地区別	加古川	309	56.0	35.9	6.5	0.3	1.3
	加古川北	67	35.8	43.3	17.9	3.0	0.0
	野口	155	53.5	38.7	5.2	1.9	0.6
	平岡	327	48.6	39.1	9.2	2.4	0.6
	浜の宮	216	49.1	41.7	5.1	3.7	0.5
	両荘	37	27.0	40.5	29.7	2.7	0.0
	加古川西	121	44.6	46.3	7.4	0.8	0.8
	志方	45	22.2	53.3	22.2	2.2	0.0

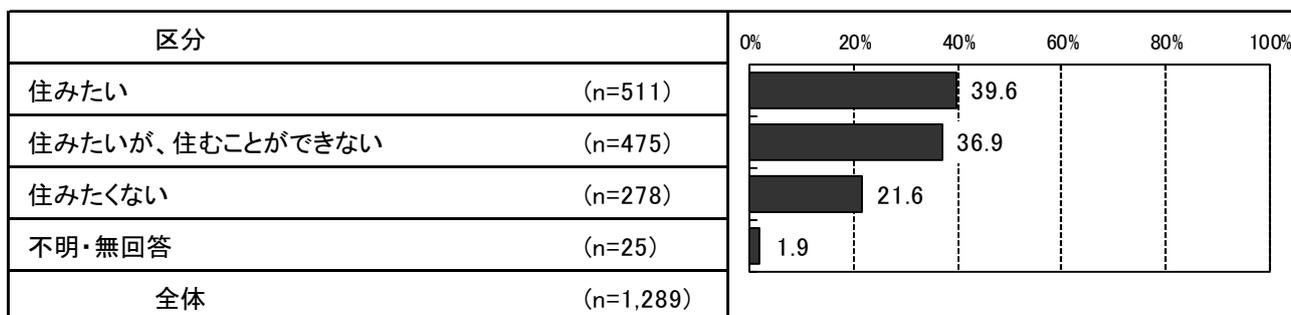
- 年齢別にみると、30～34歳・40歳以上の年代は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの年代は「住みやすい」が最も多くなっています。
- 転出前の居住地区別にみると、加古川・野口・平岡・浜の宮の人は「住みやすい」、ほかの地区の人は「どちらかと言えば住みやすい」が最も多くなっています。「どちらかと言えば住みにくい」は両荘・志方の人で20%台と、ほかの地区の人より多くなっています。

【転出前の世帯構成別・今後の居留意向別 加古川市の住みやすさ】

		(n)	住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	住みにくい	不明・無回答
全体		1,289	48.3	40.3	8.7	1.9	0.8
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	36.5	43.3	15.4	2.9	1.9
	夫婦のみの世帯	63	36.5	46.0	14.3	3.2	0.0
	子どものいる世帯	181	38.7	48.1	9.9	2.8	0.6
	親と同居世帯	772	53.0	38.2	6.7	1.3	0.8
	三世代世帯	147	49.0	38.1	9.5	2.7	0.7
	その他の世帯	18	44.4	33.3	16.7	5.6	0.0
居留意向	住みたい	511	67.1	30.7	2.0	0.0	0.2
	住みたいが、住むことができない	475	49.7	45.5	4.4	0.0	0.4
	住みたくない	278	14.4	48.9	27.7	8.6	0.4

- 転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの世帯は「住みやすい」が最も多くなっています。
- 今後の居留意向別にみると、住みたくない人は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの人は「住みやすい」が最も多くなっています。「どちらかと言えば住みにくい」は住みたくない人で 20% 台と、ほかの人より 20 ポイント以上多くなっています。

問 22 あなたは、将来、加古川市に住みたい（戻ってきたい）と思いますか。【1つに○】



- 「住みたい」が 39.6%で最も多く、次いで「住みたいが、住むことができない」が 36.9%、「住みたくない」が 21.6%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別 加古川市への居住意向】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	住みたい	住みたいが、 住むことが できない	住みたくない	不明・無回答
全体		1,289	39.6	36.9	21.6	1.9
年齢別	20～24歳	237	52.7	30.8	14.3	2.1
	25～29歳	348	41.1	36.8	20.4	1.7
	30～34歳	342	35.4	36.0	27.8	0.9
	35～39歳	206	34.5	40.8	21.8	2.9
	40歳以上	153	33.3	41.8	21.6	3.3
転出先の 県下地域別	神戸地域	190	38.9	31.6	27.4	2.1
	阪神南地域	76	36.8	40.8	19.7	2.6
	阪神北地域	27	33.3	40.7	22.2	3.7
	東播磨地域	308	38.3	30.5	29.2	1.9
	北播磨地域	47	25.5	55.3	17.0	2.1
	中播磨地域	119	47.1	37.0	13.4	2.5
	西播磨地域	21	38.1	42.9	19.0	0.0
	但馬地域	12	50.0	50.0	0.0	0.0
	丹波地域	5	20.0	60.0	20.0	0.0
	淡路地域	7	57.1	28.6	14.3	0.0

- 年齢別にみると、20～29歳の年代は「住みたい」、30歳以上の年代は「住みたいが、住むことができない」が最も多くなっています。「住みたくない」は20～24歳のみ10%台となっています。
- 転出先の県下地域別にみると、神戸地域・東播磨地域・中播磨地域・但馬地域の方は「住みたい」、そのほかの地域の方は「住みたいが、住むことができない」が最も多くなっています。「住みたくない」は神戸地域・阪神北地域・東播磨地域の方で20%台、ほかの地域の方は10%台となっています。

【転出前の居住地区別・現在の世帯構成別・住みやすさ別 加古川市への居住意向】

		(n)	住みたい	住みたいが、 住むことができない	住みたくない	不明・無回答
全体		1,289	39.6	36.9	21.6	1.9
転出前の居住地区別	加古川	309	44.3	35.6	17.8	2.3
	加古川北	67	43.3	32.8	23.9	0.0
	野口	155	43.2	36.1	16.1	4.5
	平岡	327	37.3	33.0	28.4	1.2
	浜の宮	216	33.8	44.4	20.4	1.4
	両荘	37	37.8	37.8	21.6	2.7
	加古川西	121	39.7	37.2	20.7	2.5
	志方	45	35.6	44.4	20.0	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	45.5	31.6	20.6	2.3
	夫婦のみの世帯	363	40.5	40.5	17.4	1.7
	子どものいる世帯	391	33.5	37.9	26.3	2.3
	親と同居世帯	51	43.1	27.5	27.5	2.0
	三世帯世帯	45	24.4	55.6	20.0	0.0
	その他の世帯	40	47.5	35.0	17.5	0.0
住みやすさ別	住みやすい	1,142	43.8	39.6	15.4	1.2
	住みにくい	137	7.3	15.3	73.7	3.6

- 転出前の居住地区別にみると、浜の宮・志方の方は「住みたいが、住むことができない」、両荘の方は「住みたい」と「住みたいが、住むことができない」、ほかの地区の方は「住みたい」が最も多くなっています。
- 現在の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯は「住みたい」「住みたいが、住むことができない」、子どものいる世帯・三世帯世帯は「住みたいが、住むことができない」、ほかの世帯は「住みたい」が最も多くなっています。
- 住みやすさ別にみると、住みやすいと答えた人は「住みたい」、住みにくと答えた人は「住みたくない」が最も多くなっています。

問 23 加古川市への思いやメッセージを、ご自由にお書きください。

1,289 件中、自由記述は実 834 件

有効回答 1,289 件のうち、記述があったのは 834 件で、いただいた意見をテーマ（分野）ごとに分類し、集約した結果、延意見数は 1,119 件でした。

いただいた意見を、さらに「問 22 Uターン意向」ごとに集約した結果は以下の通りです。

■ 「住みたい」と答えた人の意見（延 455 件）

意見	件数
住みやすさ	201
いつか戻れたら・戻りたい・戻る	91
住みやすい・暮らしやすい	50
離れて加古川の良さを再認識	18
ほどよい田舎（都会すぎず）	14
愛着がある・大切なふるさと	10
自然が豊かで住みやすい	7
心落ち着く・ホッとするまち	4
結婚・子育てのために戻った	2
仕事・結婚のために離れた（戻ってきたい）	2
その他（気候がよい、人が温かいなど）	3
今後のまちづくりに期待	56
応援している・頑張っている	44
より良い加古川市に期待	9
幅広い年代・外国にとって住みやすいまちに	3
子育て支援	42
子育て支援策の充実を	20
明石市のような支援策を	9
医療費の対象を拡大してほしい	4
給食の充実（中学校まで、無償になど）	3
医療費無料が助かった	2
子育てがしにくいまち	2
子育てがしやすいまち	2
公共交通	34
バスが不便（本数が少ない、全域をカバーしてほしいなど）	14
交通の便がよくない	8
車があれば住みやすい・車が無いと不便	7
交通が便利・道路が整備されている	2
都市部に行きやすい	2
高齢になると不安	1
道路	21

意見		件数
交通が便利・道路が整備されている		6
渋滞の緩和を		6
道路の環境整備を・事故が多く不安		5
街灯が少なく危険		4
市民生活の安全・安定		20
治安が悪い		11
災害が少なく安心		5
災害対策を進めて		2
その他(安全・安心なまち、マナーが悪い)		2
商業・観光		15
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして		8
駅前を活性化してほしい(にぎわいがない、栄えてほしい)		4
娯楽・商業施設等の充実を、賑わいのあるまちに		3
加古川が好き・応援している		9
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない		8
医療		6
医療、福祉サービスを充実してほしい		3
医療環境が良くなっている		2
医療環境が悪い		1
環境対策の充実(空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など)		5
これからも加古川に行く、帰省する		5
住宅環境について		5
地価・建物・家賃が高い		2
マンションを増やしてほしい		2
地価が安い		1
スポーツ・文化施設の充実		3
アンケートについて		3
働く場所が少ない・企業誘致を		3
魅力を感じない・活気がない・もの足りない		3
教育環境の充実(学校環境の改善、中高一貫教育の実施)		2
花火などのイベントが好き		2
その他		12

■ 「住みたいが、住むことができない」と答えた人の意見（延 448 件）

意見		件数
住みやすさ		178
住みやすい・暮らしやすい		70
いつか戻れたら・戻りたい・戻る		25

意見	件数
愛着がある・大切なふるさと	18
離れて加古川の良さを再認識	17
ほどよい田舎(都会すぎず)	11
自然が豊かで住みやすい	10
仕事・結婚のために離れた(戻ってきたい)	5
加古川で生まれ・育って良かった	3
心落ち着く・ホッとするまち	3
豊かな自然を守ってほしい	3
田舎ならではの体験ができた	2
気候が良くて住みやすい	2
暮らしが不便	2
人が温かい	2
見守られて育った	2
その他(公園がよい、静か)	3
今後のまちづくりに期待	61
応援している・頑張ってる	53
より良い加古川市に期待	8
子育て支援	38
子育て支援策の充実を	21
子育てがしやすいまち	8
医療費の対象を拡大してほしい	3
医療費無料が助かった	3
給食の充実(中学校まで)	2
産前・産後の支援を	1
公共交通	36
交通の便がよくない	12
バスが不便(本数が少ない、ルート拡大など)	10
車があれば住みやすい・車が無いと不便	8
高齢になると不安	3
都市部に行きやすい	3
道路	20
渋滞の緩和を	10
道路の環境整備を・事故が多く不安	6
交通が便利・道路が整備されている	4
市民生活の安全・安定	17
治安が悪い	11
災害が少なく安心	2
マナーが悪い	2

意見		件数
その他(運転が荒い、治安がよい)		2
商業・観光		14
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして		8
駅前を活性化してほしい(にぎわいがない、栄えてほしい)		6
加古川が好き・応援している		11
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない		11
住宅環境について		10
地価・建物・家賃が高い		6
転出先で住宅を購入(よい物件がなかった)		3
マンションを増やしてほしい		1
これからも加古川に行く、帰省する		8
教育環境の充実		6
教育環境がよい		2
その他(教師の質の改善、学校のバリアフリー化など)		4
行政の対応		5
窓口対応に満足		3
窓口対応に不満		2
食べ物がおいしい		5
環境対策の充実(空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など)		3
働く場所が少ない・企業誘致を		3
アンケートについて		3
医療環境が良くなっている		2
悪いイメージを払拭して		2
税金、水道料金が安い		2
その他		13

■ 「住みたくない」と答えた人の意見 (延 216 件)

意見		件数
住みやすさ		45
住みやすい・暮らしやすい		23
愛着がある・大切なふるさと		5
離れて加古川の良さを再認識		4
いつか戻れたら・戻りたい・戻る		3
ほどよい田舎(都会すぎず)		3
心落ち着く・ホッとするまち		2
仕事・結婚のために離れた(戻ってきたい)		2
その他(親しみはある、不便、静か)		3
子育て支援		30

意見	件数
明石市のような支援策を	10
子育てがしやすいまち	5
給食の充実(中学校まで、高校まで)	4
子育て支援策の充実を	4
医療費の対象を拡大してほしい	2
その他(医療費無料が助かった、ミマモルメがよいなど)	5
公共交通	25
バスが不便(本数が少ない、ルート拡大など)	10
交通の便がよくない	9
車があれば暮らしやすい・無ければ暮らしにくい	4
高齢になると不安	2
市民生活の安全・安定	22
治安が悪い	17
運転が荒い(交通マナーが悪い)	3
その他(災害が少ない、災害対策を)	2
道路	17
渋滞の緩和を	6
交通が便利・道路が整備されている	4
道路の環境整備を・事故が多く不安	4
街灯が少なく危険	3
今後のまちづくりに期待	14
より良い加古川市に期待	6
応援している・頑張っている	5
幅広い年代・外国にとって住みやすいまちに	3
商業・観光	10
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして	7
娯楽・商業施設等の充実を・賑わいのあるまちに	3
医療	4
医療環境が良くなっている	2
市民病院への疑問・不安	2
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	8
これからも加古川に行く、帰省する	8
行政の対応	5
窓口対応に不満	4
窓口対応に満足	1
お世話になりました	4
加古川が好き・応援している	3
魅力を感じない・活気がない・もの足りない	3

意見	件数
環境対策の充実(空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など)	3
人間関係がわずらわしい	2
アンケートについて	2
その他	11